

第四回 貴族院議事速記第十六號

明治二十六年一月十三日(金曜日)

午前十時五十三分開議

議事日程 第十六號 明治二十六年一月十三日

午前十時開議

第一 砂鑛採取法案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 田畑地價特別修正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

昨日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタ政府提出鐵道公債會計法案及官設鐵道用品資金會計法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シマシテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザリマス、昨日本院ニ於キマシテ否決ニナリマシタル衆議院提出明治二十二年法律第十二號廢止法律案及市制追加法案ハ即日否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザリマス、次ニ本日ノ議事日程、第一、砂鑛採取法案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、條數ガ多ウゴザリマスニ依ッテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス、

〔木内書記官朗讀〕

砂鑛採取法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十六年一月十日

內閣總理大臣臨時代理

內務大臣伯爵 井上 馨

農商務大臣伯爵 後藤象二郎

〔左ノ法案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ此ニ載録ス〕

砂鑛採取法案

第一條 此ノ法律ニ於テ砂鑛トハ砂金、砂錫及砂鐵ヲ謂フ

第二條 砂鑛ヲ採取セムト欲スル者ハ所轄鑛山監督署長ヲ經由シ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 帝國臣民ニ非ラサレハ採取人トナリ又ハ採取業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主トナルコトヲ得ス採取人未成年瘋癲白痴又ハ瘡癩ナルトキ

砂鑛採取法案 第一讀會

一九四

ハ後見人ヲ立ツヘシ

農商務省鑛山局及鑛山監督署ノ官吏ハ在職中採取人トナリ又ハ採取業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主若ハ役員トナルコトヲ得ス

第四條 採取區域內ノ土地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者又ハ關係人ノ承諾ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人ハ自ら採取ヲ出願スルトキノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス但承諾ヲ與フルトキハ相當ノ砂鑛採取料ヲ要求スルコトヲ得

第五條 採取ノ事業公益ヲ害スト認ムルトキハ農商務大臣ハ其ノ出願ヲ許可セス但危害ノ豫防ニ關シ必要ノ條件ヲ附シ出願ヲ許可スルコトアルヘシ

第六條 採取ノ事業公益ニ害アルトキハ農商務大臣ハ既ニ與ヘタル許可ヲ取消スコトヲ得

第七條 採取業上ニ危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ所轄鑛山監督署長ハ採取人ニ其ノ豫防ヲ命ジ又ハ採取業ヲ停止スヘシ

所轄鑛山監督署長ニ於テ採取業ヲ停止セントスルトキハ其ノ猶豫シ難キ場合ヲ除クノ外ハ農商務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

採取業ヲ停止シタル後其事故止ミタルトキハ所轄鑛山監督署長ハ其ノ停止ヲ解クヘシ

第八條 採取人第四條ニ依リ附セラレタル條件ヲ履行セス又ハ前條ニ依リ命セラレタル豫防ヲ怠ルトキハ農商務大臣ハ既ニ與ヘタル許可ヲ取消スコトヲ得

第九條 採取人正當ノ理由ナクシテ一箇年以上休業シ又ハ採取ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ一箇年內ニ採取ニ著手セサルトキハ農商務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十條 詐偽又ハ錯誤ニ由リ採取ノ許可ヲ得タルコトヲ發見シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スヘシ

若其ノ許可ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ許可ヲ取消ヲ農商務大臣ニ請求スルコトヲ得

第十一條 第六條第八條第九條及第十條ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十二條 採取許可取消ノ處分ヲ受ケタル採取人ハ同一區域ニ付一箇年間採取ノ出願ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 左ノ場合ニ於テ採取人他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ必要トシ其ノ貸渡ヲ請求シタルトキハ其ノ土地所有者又ハ關係人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

一洗鑛ノ爲

一製鍊所建設ノ爲

一洗滌用水路及溜池開設ノ爲

第十四條 採取人ハ使用スル土地ニ對シ其ノ土地所有者ニ相當ノ借地料ヲ仕拂フヘシ

其質入トナリタル土地ニ對スル借地料ハ質取主ニ於テ之ヲ受領スルモノトス

土地使用ニ依リ貸渡人又ハ關係人ニ損害ヲ加フルトキハ採取人ハ之ニ對シ相當ノ賠償ヲ爲スヘシ

第十五條 採取人借地料ノ仕拂ヲ延滞シタルトキハ土地所有者ハ其ノ土地ヲ取戻スコトヲ得

第十六條 第十條ノ場合ニ於テ採取人五箇年以上土地ヲ使用スルトキハ其ノ土地所有者ハ土地ノ買取ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ採取人ハ其ノ買取ヲ拒ムコトヲ得ス

第十七條 採取人ノ請求ニ依リ土地ヲ分割シテ賣渡シ又ハ貸渡シタルカ爲殘地ノ利用ヲ害スルトキハ土地所有者ハ採取人ニ對シ其ノ土地全部ノ買取若ハ借受ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ採取人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十八條 土地所有者又ハ關係人ト採取人トノ間ニ於テ土地貸渡、採取料、借地料損害賠償金又ハ土地賣買代價ニ付協議調ハサルトキハ所轄鑛山監督署長ニ其ノ判定ヲ請求スルコトヲ得

所轄鑛山監督署長ノ判定ニ不服アルトキハ其ノ判定ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ其ノ裁定ヲ請求シ採取料、借地料損害賠償金若ハ土地賣買代金ニ就テハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項農商務大臣ノ裁定ニ對シテハ他ニ出訴スルコトヲ得ス

第十九條 所轄鑛山監督署長ノ判定又ハ農商務大臣ノ裁定請求ノ爲ニ要スル費用ハ民事訴訟費用ノ例ニ依リ負擔スヘキモノトス

第二十條 採取人ハ土地所有者又ハ關係人ニ於テ所轄鑛山監督署長ノ判定シタル採取料、借地料損害賠償金又ハ土地賣買代金ニ不服アルモ其金額ヲ土地所有者又ハ關係人ニ渡シ若シ受ケサルトキハ其ノ金額ヲ供託所ニ預置キ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十一條 許可ヲ得シテ採取ヲ爲シタル者又ハ詐僞ニ由リテ許可ヲ得タル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第二十二條 此ノ法律施行以前ニ許可ヲ得タル採取人ハ此ノ法律ニ依リ引

續キ其ノ業ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 砂鑛採取ノ警察其ノ他國土保安ニ關シ必要ナル規定及此ノ法律ノ施行細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十四條 此ノ法律ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

(政府委員西村捨三君演壇ニ登ル)

○政府委員(西村捨三君) 本案ハ既ニ第二議會ノ節政府ヨリ提出ニナリマシテ本院ニ於キマシテ二讀會マデモ相濟ンダ様ナコトデゴザイマス、併ナガラ其節ハ二十四年十二月二十六日限ノ議會モ運命トナリマシテ不幸ニモ此法案ハ成立タズ仕舞ニナッタコトデアリマス、シマシテ第三回ノ議會ニモ提出ニナリマシテ本院ニ於キマシテ十分ノ修正ヲ加ヘラレマシテ政府ニ於キマシテモ概ネ御同意ヲ表シマシテ議決ニ相成リタルニ拘ラズ其當日ハ既ニ閉會ト云フコトニナリマシタ、誠ニ斯ノ如ク兩度トモ不幸ニ際シテ所謂無駄骨折ニナッタ次第實ニ不廻リ極ッタ法案ト申サネバナリマセス、然リマスル所砂鑛採取ハ舊坑法支配ノ砌ヨリシテ十二年中工部省ノ布達ヲ以チマシテ坑法ヨリ取除ケマシテ特別便宜法ガ立ッテアッタコトデゴザイマス、其鑛業條例ニモ砂鑛類ハ性質上地表ニ多ウゴザイマスモノデゴザイマスカラ地内ニゴザイマス鑛物ノ層ヲ成シタモノトハ違ヒマスル所ヨリ致シマシテ是レハ取除ケニナッタ居ルデゴザイマス、去リトテ此營業モ全國ヲ通觀致シマスルト千六百五十何箇所ト云フ砂鑛採取ノ場所ガゴザイマス、就中山陰山陽諸州ノ砂鑛ノ如キハ其中ノ十ノ八九ヲ占メマシテ千五百三十三箇所ゴザイマス、日本產鐵ノ原料ト云フモノハ全ク御承知ノ通り山陰山陽ノ諸州ヨリ出ル次第デゴザイマスガ、他ノ鑛業ハ昨年ノ六月一日ヨリ鑛業條例ノ支配ヲ受ケマシテ夫々鑛山行政モ段々整備ニ向イタ次第デアリマスルガ、此砂鑛ニ對シマシテハ前段申上ゲマスル如ク第二期ノ議會ニモ成立タズ第三期ノ議會デモ成立チマセズシテ何等ノ裁制モナク成行イテ居ルコトデゴザイマス、誠ニ所謂氣ガ氣デナイト申サネバナリマス、シテ政府ニ於テ其責モ少カラスコトト深ク心痛ヲ仕リマスル次第デゴザイマス、幸ニモ從來ノ慣行ガゴザイマシテ別段此歲月ノ間ニ苦情ハ一ツモ出來テゴザイマセス、出來テハゴザイマセヌナレドモ、斯ノ如ク荏苒ト致シマシテ又砂鑛採取ノ裁制ガナクテハ實ニ一日モ農商務省ニ於テハ安堵致シマセヌ場合デアリマスカラ即チ此法案ヲ提出致シマシテ御協賛ヲ求メマシタ次第デゴザイマス、然シマシテ此法案ハ概ネ第三回ニ本院デ修正議決ニナリマシタモノヲ持出シマシタモノデゴザイマス、併ナガラ此上ニ幾分力審議ヲ加ヘマシテ此事業ト申シマスルモノハ大抵地表ノ掘鑿仕事デゴザイマスカラ或ハ家屋ノ上ノ山ヲ削リマスルモノ、或ハ川邊ノ斷崖ノ上ノ山ヲ削リマスルモノ、若クハ道路ノ上ノ山ヲ削リマスルモノ、隨分危害ノ點モ少カラ

スコトデゴザイマス、サウシテ霖雨ニ川邊リノ砂ナドガ落込ミマス、其川ヲ埋メマシテ上流ノ水ガ通ゼナイ様ナ結果ヲ生ズル様ナコトガゴザイマス、或ハ家ヲ潰シタリ道路ヲ塞イダリスル其タメニ公益ニ關スルコトモ少カラヌコトデゴザイマス、是非トモ是レカラ先キ此砂鑽ト申シマスルモノヲバ保護獎勵致シマスルニ付キマシテハ一方ニ於キマシテハ十分ノ豫防ヲ加ヘヌナラヌコトデゴザイマシテ國土保安ニ頗ル關係ヲ生ジマスルコトデゴザイマス、夫レ故ニ第五條ニ但書ヲ加ヘマシタ、夫レカラ第七條第八條ヲ新ニ加入致シマシタ、夫レカラ附則ノ二十三條ヘ以テ參リマシテ砂鑽採取ノ警察其他國土保安云々ト申シマスル二十四字ヲ加ヘタ次第デゴザイマス、又前ノ第二項ノ第二條ノ所ニ帝國臣民云々ト云フ條ヲバ鑛業條例第四條ノ通り瘋癲白痴又ハ瘡癩ナルトキハ後見人ヲ立テトシマシテ鑛山監督署ノ官吏ハ砂鑽ノ採取ノ營業ヲスルコトハナラヌト云フ精細ナル裁制ガ附イテアルノデゴザイマスカラ之ヲバ第三條トシテ加ヘマシタ次第デゴザイマス、又第十一條ヲ新設致シマシタ、是レハ行政裁判所ニ出訴シ得ベキモノハ各箇條ニ散入シテゴザイマシタヲ一箇條ニ集メテ即チ一箇條ニ纏メテ十一條ヲバ新設致シマシタ次第デゴザイマス、其他ノ條項ニ於キマシテハ概ネ本會ニ於テ修正ニ相成リマシタモノヲ採用致シマシタ次第デゴザイマス、何卒前段ヨリ段々申上ゲマスル通り一日モ差置キ難イコトデゴザイマス、其カラ速ニ御協賛御議決アラムコトヲ希望致ス次第デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ノ第二ニ移リマス、本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス、

○男爵小松行正君 本案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ヲ規則第四十七條ニ依リマシテ議長ノ指名ニ委任スルコトヲ提出致シマス、

○男爵中川興長君 小松男爵ニ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小松男爵ノ動議ニ就テ決ヲ採リマス、小松男爵ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数ト認メマス、次ニ田畑地價特別修正法律案、政府提出衆議院送付、第一讀會ノ續キヲ開キマス、特別委員長報告、

○侯爵黑田長成君 諸君、此田畑地價特別修正法律案ニ付キマシテハ舊冬以來數回ノ委員會ヲ開キマシテ丁寧反覆討論ノ末其審查ヲ遂ゲマシテ今日其結果ヲ御報告スルコトニ相成リマシタ、委員會ニ於キマシテハ本案ハ否決スベキモノデアルト云フノ議決ヲ致シマシタ、其議決ヲ致シマシタ理由ト云フ

モノハ主トシテ二ツノ理由ガアリマス、唯今ヨリ其事ヲ一應申上ゲヤウト思ヒマス、先ヅ此法律案ハ否決スベキモノデアルト云フ第一ノ理由ト申シマス、モノハ地價修正ヲ行ヒマスレバ勢ヒ國家ノ收入ヲ減少シナケレバナラヌ、故ニ此減少サレタ收入ヲ補充スル丈ケノ財源ヲ求メルト云フコトガ必要デア

ル、然ルニ今日其財源ヲ確定シ得ラレナイ以上ハ此地價修正ハ到底行ヒ得ラレヌモノデアルト云フコトデアリマス、而シテ次ナル理由ト云フモノハ抑租稅ノ公平ヲ得マシテ國民ノ負擔ヲ均一ニスルト云フコトハ是レハ何人ト雖モ渴望シテ居ルノデアアル、然ルニ如何セム今日此法案ニ依リマシテ田畑地價修正ヲ行ヒマシテモ到底其目的ヲ完全ニ達シ得ラレナイノミナラズ、決シテ今日ハ其時機ヲ得テ居ラヌト云フコトデアリマス、諸君モ御承知ノ通り此鐵道敷設法モ既ニ發布ニ相成リマシテ十數年ヲ出デズシテ六大線路モ完成スル筈デアアル、加之治水ノ事業ナリ又ハ港灣ノ修築ナリ、總テノ地價ノ變動ニハ非常ナル原因ヨリ有シテ居ル所ノ運輸交通ノ機關ト云フモノハ日ニ月ニ發達進歩シツ、アルトキデアリマス、縱ヒ地價修正ト云フモノ、ガ目今地方人民ノ熱望シテ居ル所デアアルカラト云ツテ今日ノ偏重ノ地價ヲ矯正シマシテモ夫レハ唯一時人心ヲ安ズルノミノ姑息ノ策タルニ過ギヌコトデアツテ明日ニ至レバ又偏重ノ地方ヲ生ズルト云フコトハ是レハ何人ト雖モ蓋シ豫言スルニ憚ラヌコトデアラウト思ヒマス、夫レ故ニ今日地價修正ヲ行ヒマシテモ又數年ヲ出デズシテ地價修正ヲ行ハネバナラヌト云フ結果ニナルコトヲ考ヘテ置カナケレバナラヌ、斯ノ如クナリマシタナラバ修正又修正、徒ラニ國家ノ財源ト云フモノヲ投ズル様ナ憂ガアラウト思ヒマス、然ルニ國家ノ政治ト云フモノハ自カラ緩急順序ト云フモノガアル、須ラク國ノ本ヲ立テラト云フコトガ必要デアリマス、然ルニ如何セム其國ノ本ヲ立テラト云フ方法如何ニ至リマシテハ自ラ見ル所ガ異ルコトデアアル、併ナガラ諸君ハ皆國家ヲ思フコト云フ精神ニ至ツテハ同一デアルト云フコトハ本員ノ確ク信ズル所デアアル、故ニ今日地價修正ノ如キ民力休養ト云フ丈ケヲ以テ人民ノ負擔ヲ漸々輕減スル時機デアリマセウカ、或ハ一層歩ヲ進メテ民力ノ發達ヲ圖リマシテ獨リ國民ノ負擔ヲ輕減スルコトガ出來ルノミナラズ尙ホ其負擔ニ餘裕ヲ生ゼシムルト云フコトガ必要デアリマセウカ、是レハ蓋シ思ヒ半バニ過ギヌコトデゴザイマス、今日我邦ノ國防軍備ハ如何ナル有様デアリマセウカ、決シテ完實シテ居ルト謂ハレナイ、又我ガ生産ノ事業ハ如何ナル程度ニアリマス、是レモ既ニ發達シテ居ルトハ申サレヌコトデアアル、斯ノ如ク國家自衛ノ途ト雖モ不完全デアツテ國家自存ノ方法デサヘモ未ダ發達セヌ今日デアリマス、此時ニ當ツテ地價修正ヲ行フト云フコトハ即チ消極的ノ方針ヲ執ツテ國ノ政治ヲナスト云フコトハ實ニ國家ノ大計ヲ誤ツテ居ルト云フコトヲ斷言スルニ憚ラヌノデア

ル、尙ホ本問題ハ前議會ニ於テ本院ノ大多數ヲ以テ否決サレタ案デアリマス、其以來今日ニ至リマシテ僅々短日月ニ過ギヌデアリマス、故ニ貴族院ハドコマデモ此法案ニ對シマテハ獨立ノ意思ヲ以テ公平ナル判斷ヲ下サレテ益々貴族院ノ貴族院タル體面ヲ永遠ニ維持スルト云フコトハ本員ガ切望シテ已マザル所デアリマス、

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 諸君、本員ハ此議案ノ委員會ニ於テ不幸ニモ敗レヲ取ツタル所ノ一人デアリマス、玆ニ同論者諸君ト少數意見ヲ提出シマシタ所ノ報告ヲ致シマスノデアリマス、抑、此案ヲ今回議場ニ提出サレタ次第ヲ申シマスト衆議院ニ於テ總理大臣ノ演說ノ朗讀ヲ見マシテモ地價ノ偏重失衡ノ甚シキヲ認メ數年間調査ノ結果トシテ法案ヲ提出スルノ機運ニ遭遇シタル旨ガ見エテ居リマス、亦同院ニ於テ大藏大臣ノ演說ニハ今ヤ政府ハ又其必要ヲ認メテ百方實際施行ノ方法ヲ考查シ玆ニ田畑地價修正法案ヲ提出スル云々ト斯様ニアリマス、昨年……然カモ僅ニ半年前ニハ必死トナツテ此案ヲ非難排斥サレタ所ノ政府ガ僅ニ半年ノ後ニ自ラ進ンデ此案ヲ提出サレタト云フ次第デアリマス、無論此間ニハ内閣大臣モ多數ノ更迭ガアリマシタカラ政府ノ意見ガ一變シタト見レバ是レモ別ニ怪シム次第モアリマセヌ、良シヤ又意見ガ一變センデモ此輿論ヲ容レテ提出シタト云ヘバ其過ヲ改ムルニ吝カナラヌ所ノ最モ賞賛スベキ美德デアラウト本員ハ信ジマスコトデアリマス、併ナガラ此案ハ初發カラ一種奇妙ノ案デゴザリマス、委員會ニ於テハ益々一種奇妙ナルコトヲ發見シタデアリマス、委員會ニ於ケル結果ハ唯今委員長ノ報告ノ如ク四回ノ長キニ亘リマシテ質問モ議論モ隨分盛ンナコトデアリマシテ夫レハ速記録デ諸君御承知デアラウト思ヒマス、其速記録ヲ御覽ナサツテモ分リマスガ其前半ト云フモノハ大藏大臣ニ向ッテ多クハ質問デアリマス、サウシテ下モ一半ガ論說議論ト云フ様ナ譯デアリマス、其實問ノ要點ト云フモノハ何デアルカト云ヘバ概シテ財源ノコトデアリマス、財源ノ出所デアリマス、所ガ數十回人ハ變リ日ハ換ハリ數十回質問ハシタガ遂ニ本員等ハ判然ト其要領ヲ得ナイデ終ッテ仕舞ッタ、ト云フモノハ速記録ニモアル如ク大臣ノ答辯中ニ例ヲ舉ゲテ申スナラバ新三稅ト此案ト聯關シテ居ルト斯様ニ申シ、又三稅否決セラレテハ此案ノミ單獨ニ施行スルコトハ出來スト斯様ニ云ハレマシタ、ト思ヘバ又一方デハ強テ地價修正ト三稅ト云フモノガ關聯シタ譯デハナイト斯様ニモ云ハレル、右ノ様ナ譯デアリマシテ大臣ノ答辯ハ數十回ヲ煩ハシマシタガ餘リ意味深長ナルガタメニ政府ノ眞意ト云フモノハドコニアルカ到頭我々ハ解釋スルコトガ出來ナカッタ、甚ダ推測ニ困ッタト斯様ナ譯デアリマス、夫レハ本員一人デアリマセヌ、委員中ニハ同感ノ人モ澤山アッタ

思ヒマス、是レガ委員會ノ長引イターツノ理由デモアッタデアリマセウ、斯ル次第デアッタ故ニ委員會中ニモ種々無量ノ變體ガアリマシテ是レモ一例ヲ舉ゲマスレバドウシテ宜イカ一身ノ處分ニ苦シムト言ハレタ人モアレバ初ハ賛成ト云ッテ後ニハ反對ト變ジタ人モアル、又今日デモ賛成デモアリ併シ又反對デモアルナドト言ハレタ人モアル位デアリマス、勿論又始終一徹變セズ屈セズ議論ヲ貫徹シタ御方モ澤山アリマス、夫レハ無論澤山アリマス、而シテ此政府案ナル此案ガ愈々大體議ノ決議ト云フ時ニ至ルマデモ政府委員ト云フモノハ本案ノ辯護トシテハ一言ノ發言モアリマセヌデアッタ、言ハバ看殺シト云フ譯デアリマシタ、看殺シ捨テ殺シト云フ有様デアッタ、夫レ故ニ此案ハ政府ノ繼子案デハナイカト委員ノ一人ハ評セラレタ次第デアリマス、隨分奇妙不思議ノ狀態デアッタト言フテモ宜カラウト思ヒマス、サウシテ終局賛成者ハ我々少數デ敗レタト斯様ナコトデアリマス、爰ニ又一言致シテ置キタイト申スノハ委員會ノ少數デ敗レタ我々……敗レタノハ我々ガ委員會ノ延期說ヲ贊成シナカッタ故ニ敗レタト斯様ニ申サレル人ガアルカモ知レヌ、是レハ邪推カハ知レヌガアリマセウ、即チ御前達ガ委員會ノ延期ニ贊成シナカッタ故ニ敗レタト斯様ニ言ハレマセウ、併ナガラ是レハ御本人モ能ク御自分ニ御尋ナサッタラ分ルデアリマセウ、此事ニ付テ深ク論ジマスレバ餘リ入ラヌ議論ヲシク思ヒマスカラ……若シヤ斯様ナ說ヲ立テララウカト思フカラ一言爰ニ述ベ置キマス、以上ガ委員會ニ於テノ本案贊成者ノ有様デアリマス、因ッテ少數者即チ六名ハ此委員會ノ報告ニ反對スル所ノ此意見ヲ提出スルコトニナリマシタ、諸君ノ御持チニナツテ居ル我々ガ出シテ居ル意見中ニ誤字ガアリマスカラ……脱字ガアリマスルカラ修正ヲ願ヒマス、第三ペーヂノ第七行ニ「偏輕」ト云フ字ノ上ニ「偏重」ト云フ二字ガ落チマシタ「偏重偏輕」ト續クベキノデアリマス、

〔子爵稻垣太祥君「チヨットモウ一遍」ト述フ〕

……第三ペーヂ第七行ノ「偏輕」ノ上ニ「偏重」ノ二字ヲ加ヘタノデアリマス、元來我々少數委員ガ保持スル意見ト申スモノハ今爰ニ即チ此意見書ニ書イテアリマス通り明治六年ノ地租改正ノ勅諭ノ大眼目タル所ノ賦ニ厚薄ノ弊ナク民ニ勞逸ノ偏ナカラシメムト云フ至仁至慈ナル 聖天子ノ勅慮ニ……恐レ多キコトナガラ 仁德天皇ノ聖德ニモ比シ奉ルベキト恐察シ奉ル所ノ至仁至慈ナル我ガ 聖天子ノ勅慮ガ二十年ノ久シキ今日ニ於テ未ダ貫徹セザルト云フモノハ實ニ是レハ千古ノ遺憾デアアル、實ニ千古ノ遺憾デアアル、然ルニ今ヤ幸ニ政府ガ此案ヲ提出スルニ遭遇シタト云フモノハ實ニ是レハ國家萬民ノ幸福デアアル、本員等ハ此貴族院タルモノ即チ日本帝國ノ立法協贊ノ責ニ任ズル所ノ貴族院ニ於テハ此政府案、最モ道理アル最モ必要ナル政府案ヲ可決シテ協

贊ノ任ヲ竭シ上 聖天子ノ聖德ヲシテ愈々益々四海ニ光被セシムルタメニハ全
力ヲ用ヒネバナラヌト斯様ニ確信シテ疑ハヌ所ノモデアリマス、此理由書
ヲ御覽下サリマス分ルコトデアリマスカラ喋々説明ヲ致シマセヌ、又此法
案ノ實施施行ノ方法等ノ如キハ内閣大臣若クハ政府委員ガ自ラ進ンデ是レハ
説明ナリ答辯ナリ辯護ナリヲナサル義務ガアラウト本員等ハ信ジマス、故ニ
此事ニ付テハ敢テ陳述ヲ致シマセヌ、併ナガラ本員モ此案ノ贊成者デアリマ
スカラ後程又此壇ニ登リマシテ包持スル所ノ所説ヲ陳述シテ諸君ノ清聴ヲ煩
ハスコトニナリマスデアリマセウ、爰ニ滿場諸君ト豫メ誓フ致シテ置キタイ
コトガアリマス、此案ト申スノハ申ス迄モナク至重ナル問題デアッテ恐ラク
當議會中ノ最重要ナル問題デアラウト推察致シマス、デ彼此兩造共ニ十二
分ノ討論ヲ盡シテ遺憾ナカラシメムコトヲ熱心ニ希望スルノデアリマス、夫
レ故ニ容易ニ討論終結ナドノ動議ノ出ナイト云フコトヲ諸君ニ……出サナイ
ト云フコトノ一事ヲ諸君ト豫メ約束シ置キコトヲ希望スルノデアリマス、昨
年ノ鐵道法案ノ如キハ是レハ約束ガアッタニモ拘ハラズ卓怙ナル手段ヲ以テ
約束ヲ破ラレタト云フコトガアリマシタカラ今年ハ分ケテ此事ヲ諸君ニ願ヒ
置キマス、又近來ハ甚ダ面白カラス癖ガアッテ保安條例廢止案ノ如キ若クハ新
聞紙法案ノ如キ議場ニ多數ヲ占ムル所ノ方カラハ餘リ議論ヲ闘ハスコトヲシ
ナイデ議論ヲ避ケテサウシテ起立ヲ以テ勝ヲ占ムル傾ガアル様ニ本員ハ考ヘ
ル、斯ノ如クスルト議場ハ議論ヲスル所デナクツテ起タリ居タリ體操ヲスル
所ノ様ニナツテ仕舞フ傾ガアリマス、何卒諸君ハ議場ハ議場ヲシク十分議論
ノ場ニ供セラレムコトヲ希望シマス、是レ位重要ノ問題デアレバ二日ヤ三日
位議シテモ差間ハナイ、又二日ヤ三日議シテ居ル中ニハ例ノ財源ニ御心配ノ
アル方モ或ハ財源ヲ發見スルデアラウト信ジマス、

〔武井守正君演壇ニ登ル〕

○武井守正君 本員ハ特別委員ノ一人デゴザイマス、地價ヲ低減スルト申
スルコトハ至極結構ナコトデ本員モ贊成スベキ事柄デアルトハ信ジマスルノ
デ、併ナガラ是レハ重大ナルコトデゴザイマスルカラ鄭重ニ調ベタ上デナケ
レバ容易ニ施行致シマスルト國ヲ誤ルト信ジマスル、デ之ヲ施行致シマスル
ニ必ズヤ方法順序ガアルノデゴザイマス、若シ其方法順序ノ備ガナクシテ單
ニ之ヲ施行致シマシタトキニハ取返シノ付カナイ大害ヲ釀成スルノデゴザイ
マス、地價ハ地方經濟ノ基本デゴザイマスルカラ此基本ガ減リマスルト忽チ
此地方經濟上ニ大ナル困難ヲ來シマスルノデゴザイマス、故ニ本法案ハ獨リ
國家經濟ガ許スカラト申シテ第一ニ地方經濟ガ許シマセヌトキニハ決シテ行
フコトハ出來ナイモノデゴザイマス、行フテハナラヌモノト信ジマスルノデ
ゴザイマスル、故ニ地價ヲ修正セムト致シマスル日ニハ先ヅ以テ地方經濟ニ

迷惑ヲ與ヘナイ様ナ準備ヲシテ、サウシテ後デナケレバ行フテハナラヌノデ
ゴザイマス、若シ此順序ヲ履ミマセズシテ突然ニ此法律ヲ布キマシタトキニ
ハ細民ハ非常ナル困難ニ陥ル譯デゴザイマス、其細民ノ困難ニ陥ル理由證據
ヲ舉ゲテ是レカラ陳述致サウト存ジマス、地方稅則ノ第一條ニ地方稅ハ左
目ニ從ヒ云々トゴザイマス、其一項ニ地租三分ノ一以內云々トアルノデゴザ
イマス、地租三分ノ一以內ト申シマスレバ御承知ノ通り一圓ニ對シマシテ三
十三錢三厘三三ト申スノデゴザイマス、又府縣制第九十條ノ二項ニ之ヲ改正
致シマシテ地租四分ノ一トアル、シマスレバ一圓ニ對シテ二十五錢ニ減ジマ
シタノデゴザイマス、又市制町村制ノ第二百二十二條ニ市町村地租賦課稅ハ地
租七分ノ一ニ限ルトアリマス、其他直接國稅ハ百分ノ五十トアリマス、デ今
突然ニ地價一億五千萬圓ヲ減少致シマスルトキニハ、之ニ因ッテ地方稅ノ取レ
ナクナリマスル高ガ地方稅則ノ地租三分ノ一ヲ以テ算當ニ致シマシテモ百二
十五萬圓取レナクナルノデゴザイマス、取リモ直サズ地方費ガ夫レ丈ケ減ジ
マシタノデゴザイマス、取リ不足ニナルノデゴザイマス、又市町村稅ノ地租
七分ノ一ヲ以テ取レナクナリマスル金員ヲ算當致シマスルト、此一億五千萬
圓ノ地價減少ニ對シマシテ五十三萬五千七百十圓ト云フモノガ取レナクナ
リマシタノデアリマス、之ヲ合計致シマスレバ百七十八萬五千七百十四圓幾
ラト云フモノガ地方費ノ取レナクナリマスル譯デアリマス、又府縣制ヲ實施
致シマシタトキニハ地租四分ノ一ニ減少致シマスルカラ從來取リ得ラレマシ
タル三分ノ一ト此差違ガ既ニ此府縣制ノ稅率改正ニ對シテ三百十六萬三千三
十七圓減リマスルノデゴザイマス、ト此府縣制ヲ實施致シマシテ三百十六萬
幾ラト申スル地方費ノ減ジマシタル上今度ノ改正ノ三百七十五萬ニ對スル四
分ノ一即チ九十三萬七千五百圓ヲ合計致シマスルト四百九萬八千三百六十七
圓餘ト申スル大數ガ地方費ニ取レナクナルノデゴザイマス、地方稅率ノ改正
ガ此四分ノ一ニ減ジマシタタメニ三百十六萬餘圓ノ地租割ノ取レナクナリマ
シタノハ取リモ直サズ地主ガ稅ヲ減ジラレタノト同ジコトデゴザイマス、即
チ地主ノ負擔ガ輕クナリマシタ譯デゴザイマス、而シテ地方費ニ於キマシテ
其三百十六萬餘圓ノ地方稅ヲ何ニ依ッテ補フカト申シマスレバ營業稅ト雜種
稅ト因ッテ取リ得ラレマスル丈ケハ取リモ致シマスデゴザイマセウケレドモ、
元ト是レ等ハ一區域ノ狹イモノデゴザイマスルカラ何程モ取レルモノデハゴ
ザイマセヌ、然力致シマスレバ詰マリ戶數割ニ掛ケルヨリ外ハナイノデゴザ
イマス、シテ此戶數割ト申シマスルモノハ公ノ救助ヲ受ケテ居リマスル極々
ノ窮民乞食モ同様ノ窮民ヲ除キマスル外ハ貧富ヲ問ハズ全國臣民一般ニ負擔
スルノデゴザイマス、斯ク申シマスレバ都府ノ細民ハ受ケヌノデアラウト云
フコトガ出マセウガ如何ニモ都府ノ細民ハ受ケマセヌ、是レハ借家デゴザイ

マスカラ直接ニ負擔ハ致シマセスケレドモ戸數割家屋稅ニ掛ケラレマスレバ家主ハ從テ家賃ヲ高ク致スノデゴザリマスカラ直接ニ借家人ハ戸數割ヲ出シマセヌ様デハゴザリマスルケレドモ間接ニハ矢張り拂ッテ居ルノデゴザリマス、デ之ニ反シマシテ田舎ニ參リマスルト、ドノ様ナコマイ細民デゴザリマシテモ借家ハゴザリマセスカラ小屋丈ケハ皆自分ノ所有デゴザリマス、所ノ家ニ居住致シテ居ルノデゴザリマス、府縣制第九十條地租割ノ稅率ノ改正ヨリ地租割ニ失ヒマシタ三百十六萬餘圓又戸數割ニ掛ケマスルトキニハ如何デゴザリマセウ、細民ノ困難ハドレ程デアラウト思召シマスデゴザリマセウ、尤モ貧富ニ依リマシテ各府縣トモ大抵ハ爰ニ等級ヲ立テテ居リマスカラ課稅モ從テ多少ガアルノデゴザリマス、譬ヘバ富者ガ五十錢出シマスルニ對シテ貧者ハ二十五錢デアルトカ若クハ三十錢デアルトカ云フ等級ハ立テテ居リマス、併ナガラ全體ノ戸數割ガ増加致シマスレバ之ニ伴ヒマシテ漸次矢張り殖エルノデゴザリマスルカラ、富者ガ五十錢ノモノガ一圓ニナリ貧者ガ二十五錢ノモノガ五十錢ニナルヨリ外ハナイノデゴザリマス、夫レヨリ外ハ立テ様ガナイノデゴザリマス、今日デゴザリマシテスラ地方稅ノ負擔ニ堪ヘマセズ息納處分ヲ受ケマスル者ノ多イコトハ誠ニ懸慮ニ堪ヘマセズノデゴザリマス、此上戸數割ヲ増加致シマスレバ如何バカリノ息納處分ヲ受ケマスル貧民、困難者ガ出來ルカ分ラスト存ジマス、試ニ近年息納處分ヲ受ケマシタル其人ヲ擧ゲマスレバ租稅ニ於テ息納處分ヲ受ケタル者ヨリハ地方稅ニ於テ息納處分ヲ受ケマシタル者ガ多イノデゴザリマス、是レハ則チ細民ガ困難ヲ致シマスルカラノコトデゴザリマス、二十二年度ニ租稅ニ於キマシテ滯納處分ヲ受ケマシタル人員ハ八千九百三十六人デゴザリマス、デ同年度ノ地方稅ニ於キマシテ滯納處分ヲ受ケマシタル人員ガ十四萬四千五百四十二人デゴザリマス、又二十三年度ニ於キマシテ租稅ノ息納處分ヲ受ケマシタル人員ガ二萬千六百六十四人デゴザリマス、而シテ地方稅ニ於キマシテハ十六萬九千七百七十人ニナルノデゴザリマス、是レ程租稅ト地方稅トハ差違ガアルノデゴザリマス、是レガ即チ地方費ノ細民ニ掛リマスル其細民ノ困難ノ情狀ヲ推知スルニ足ルベキモノデゴザリマス、二十四年度以後ハマダ統計ガ分ッテ居リマセヌカラ是レハ致方ガゴザリマセヌガ、蓋シ二十四年二十五年ハ地方費ニ對シテ息納處分ヲ受ケマシタル人員ガ二十二年若クハ二十三年ヨリ多イトモ少イトモ決シテナカラウト信ジマス、既ニ二十二年二十四萬四千五百四十二人ノ息納處分ヲ受ケマシタルノガ二十三年ニハ十六萬九千七百七十人ノ多キニ及ビマシタルノデゴザリマス、之ヲ以テモ二十四年二十五年ニハ必ズ又多ク憫ムベキ民ガ出來テ居ルニ相違ナイト信ジマスル、今日デスラ尙ホ斯様ナ有様デゴザリマスルニ府縣制實施ノ日ニ至リマシタルバ則チ尙又戸數割ノ負擔ヲ増シマ

スル高ガ三百十六萬餘圓デゴザリマスカラ細民ニ此上ノ困苦ヲ嘗メサセマスルコトハドレ程デゴザリマセウカ、思フテ此ニ至リマスレバ中夜悄然トシテ眠ルコトモ出來ナイノテゴザリマス、前議會迄ハ政府モ此ニ見ル所ガアリマシテ此府縣制第九十條ノ結果ヨリ不足ヲ致シマスル地方稅ノタメニ監獄費三百二十萬圓ヲ國庫支辨ニ移シマシテ而シテ細民ノ此上困苦ニ陷ラヌ様ニ之ヲ補填シヤウト云フテ該法案ヲ提出致サレマシタルノデゴザリマス、デ本院ハ殆ド滿場一致ヲ以テ可決致シマシタニ不幸ニシテ衆議院ノ否決スル所トナリマシテ誠ニ細民ノタメニ遺憾千萬ノコトデゴザリマス、政府ハ縱ヒ一度否決ヲサレマシタルカラト申シテ幾回デモ提出サレラデアラウト本員ハ想像致シテ居リマシタ所ガ今度ハ提出ヲ致サレマセヌ、甚ダ失望ヲ致シマシテゴザリマス、ソコデ本員ハ此細民ノ困苦ヲ察シマシテ已マレマセスカラ建議案ヲ起草シツ、アリマシタル折柄衆議院ニ早ヤ既ニ同一案ヲ提出シタル者ガアリマシタルタメニ其議決ノ上廻付サレムコトヲ願フ延ベテ待ッテ居ッタルノデゴザリマス、然ルニ尙又不幸ニモ衆議院デ否決サレマシテ誠ニ殘念ナコトデゴザリマス、去リトテ同一案ヲ再度提出スルコトハ出來マセヌノデゴザリマスルヲ涙ヲ飲ンデ此度ハ已ムノ外ハナイノデゴザリマス、政府モドウ云フモノデゴザリマスルヤラ此地方稅中地租割ノ減額ヲ補填セムトハ致サレズシテ却ッテ此上ニ地方費ノ基本タル地價ヲ一億五千萬圓減却シテ猶且八十萬圓ニ近キ地租割ヲ地方費ニ失ハシメマシテ、サウシテ之ヲ戶數割ニ掛ケルノ外ナキ處置ヲサレマスルト申スモノハ本員ハ如何ニ地價修正ガ善イ事デアルト申シテモ何分贊成スルコトガ出來マセヌノデゴザリマス、又地方費ヲ補ハウトハセズシテ尙又地方費ヲシテ節減セシムル様ナ法案ヲ提出サレマシタル申スル政府ノ處置ニ甚ダ私ハ不同意ナノデゴザリマス、上來述べ來リマシタル通り……本員ノ述べマシタル本員ノ意見ノ要領ヲ今又摘ンデ申シマスレバ今將ニ實施セムトシツ、アル府縣制ニ於キマシテ地方稅中從來ノ地租割ヲ三分ノ一即チ一圓ニ對シテ三十三錢三厘三三三ト申シマスルモノヲ四分ノ一ニ改メラレテ即チ一圓ニ對シテ二十五錢ニ減少致シマシタル地主ハ其金三百十六萬千幾百圓ト云フ負擔ヲ免レマスルノデゴザリマス、夫レニ今又一億五千萬圓ノ地價ヲ減ズルト致シマスレバ地租割ト地價割トノ二ツニ於キマシテ地主ハ百八十萬圓近キ負擔ヲ又免レマス、其上百七十五萬圓ノ地租ヲ免ゼラル、ト致シマスルト之ヲ合計致シマスレバ地主ガ今度出スコトヲ免レマスル金高ガ八百七十一萬圓ニナノデゴザリマス、單ニ地租改正ヲ致シマシタルバ三百七十五萬圓ニ止マルト思ヒマスレバ大變ニ違ヒマスルノデゴザリマス、殊ニ府縣制デ地方費ノ稅率ヲ改正致シテ居リマスルカラ合セテ八百七十一萬圓ハ地主ガ得ラスルノデゴザリマス、其中地租ニ於テ減ゼラレマシタル三百七十五萬圓ハ

是レハ單ニ地租デ減ゼラレマシタノデゴザリマスルカラ夫レデ宜シウゴザリ

マスルケレドモ、八百七十一萬圓ノ中ノ四百九十六萬圓ハ地方税市町村費ニ

不足ノ出來ルノデゴザリマスルカラ、ドコカラカ之ヲ補ッテ行キマセスト地

方經濟ハ立チマセスカラ何カカラ取リマス、何カラ取ルト申シマスルト前段

申シマシタ通り戸數割ニ掛ケルヨリ外ハゴザリマセヌ、地方税デハ戸數割市

町村費デハ戸別割デ仍ホ矢張り戸數割ニ掛ケルヨリ外ハナイノデゴザリマ

ス、今日デスラ非常ニ細民ハ困難ヲ致シテ居リマスルニ此上五百萬圓近イ過

多ノ金額ヲ戸數ニ割掛ケマシタラ如何デゴザリマセウ、滞納處分ヲ受ケマス

ル憫レノ細民ハ幾千百ニ及ビマスルカ分ラヌト私ハ存ジマスル、地價修正ニ

賛成論者ハヤア輿論デアアル民力休養デアルト云フ否ナ決シテ休養デナイ、之

ヲ實行シタラバ細民ハ塗炭ニ苦シムト申シテ決シテ本員ハ過ギナイト信ジマ

ス、故ニ本法案ノ如キコトハ早ク否決セラレマシテ……否決セラレマスルノ

ミナラズ府縣制實施ニ到リマシテモ細民ノ苦シマナイ様ニ監獄費ヲ國庫支辨

ニ移シマスル、又土木費ヲ國庫支辨ニ戻シマスルトカ何トカ戸數割ノ負擔ヲ

輕クスルコトヲ考ヘテヤマルコトガ今日ノ急務デアラウト私ハ信ジマスル、兎

午後零時五十三分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 武井君ニ質疑ヲ……ト述フ

○林宗右衛門君 午前ニ於キマシテ武井君ノ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 林君ハドウ云フ……

○林宗右衛門君 質問デアリマス、政府委員ニ質問ガ致シタウゴザリマス

カラ此場合ニ御許シテ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス、

○林宗右衛門君 午前ニ於キマシテ武井君ヨリ此地方税ノ徵收方ノ儀ニ付

テ委シク御説明ガアリマシテアリマスルガ之ニ付キマシテ私ハ大イニ疑ヲ起

シタデアリマス、一應政府委員ニ質問ヲ致シマシテ之ヲ確メタウ存ジマス、

武井君ノ此說ニ依リマスルト地方税並ニ町村費地租割ニ……

○子爵曾我祐準君 政府委員ノ出席ヲ請求致シマスト述フ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今請ヒマシタコトハ御採用ニナリマスカ、

○子爵曾我祐準君 唯今政府委員ト申シマシタガ願ハクハ大臣ニ……出來

マスコトナラ大臣ニ請求ヲ致シタウゴザリマス、

〔此時國務大臣伯爵井上馨君、國務大臣渡邊國武君、政府委員有尾

敬重君出席ス〕

○林宗右衛門君 唯今政府委員ニ質疑ヲ致シマシタコトデアリマスガ幸ニ

御出席ニナリマシタカラ相成ルベクハ大臣ノ御答辯ヲ得マシタナラバ大イニ

満足致シマスル、午前ニ於テ武井君ノ地方税並ニ町村費ノ徵收ノコトニ付キ

マシテ……是レマデ地租三分ノ一トアルノガ四分ノ一ト減ジテアル、又町村

費ニ至ッテモ幾分カノ減ジニナル、地租ヲ二百七十五萬圓修正ニナッテ即チ兩

方合セテ八百七十一萬圓ガ抑、地租割ニ於テ減ジテ居ルト斯様ニ御述ベニナ

リマシタコトト本員ハ聽取リマシタ、果シテ然ルトキハ私共ノ心得テ居リマ

スノハ地租一圓ニ付キ五分ノ一トカ七分ノ一トカ云フモノハ全ク極度ヲ示シ

テ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 時刻ニナリマシタニ依ッテ一應休憩ヲ致シマ

ス、

午前十一時五十四分休憩

タモノデ常ニ七分ノ一トアレバ地租七分ノ一ヲ徵收スルト云フコトハナイコトト私共ハ信ジテ居リマス、果シテ此地租七分ノ一ナラ七分ノ一ト云フモノヲ悉ク取ルト云フコトデアリマセウカ、地方税及町村費ニ至リマシテモ極度ノ高ヲ悉ク徵收ニナルコトデアリマス、サウ云フ様ナ點ハ如何デアリマセウカ、一應其邊ヲ御答辯ヲ願ヒタイデアリマス、本員等ノ心得デハ全ク其極度ヲ示シタモノデ必ズ七分ノ一ハ徵收スルモノデハナイ、大抵地方費ノ總額ヨリ營業稅雜種稅ヲ引キマシテ其殘額ヲ地價ニ七分トカ戸數ニ三分トカ云フ振合ヲ以テ徵收シテ居ルノガ當リ前ダト思ヒマス、併シ戸數割ト地租割トハ各府縣ノ狀況ニ依ッテ色々ニナッテ居リマスガ、必ズ五分ノ一ナラ五分ノ一ハ必ズ徵收スルモノデハナイカト信ジテ居リマス、併シ武井君ノ御說デハ極度マデ悉ク取ル様ニ聽キマシタガ其邊ノ御辯明ヲ願ヒマス、

○國務大臣(渡邊國武君) 唯今林君ノ御質疑ハ武井君ノ御發言ニ付テデアリマスカラドウ云フ計算ヲ御發言ニナリマシタカ確ト御答ハ出來マセスガ、結局ハ極度ト云フコトハイツデモソコマデ取ルコトデアルカ又ハ最上限ヲ示シタモノデアアルカト云フコトデアッタト思ヒマス、固ヨリ極度ト云フノハ不用デアッテモソコマデ取ラネバナラスト云フコトハナイト了解シテ居リマス、

○林宗右衛門君 モウ一應確メタウゴザイマス、夫レデハ全ク地租割ニ課スルハ即チ此七分ノ一ト云フノハ極度ヲ示シタノデ必ズ是レ迄盡ク徵收スルト云フコトハ即チ我々ノ解釋通り無イコトト信ジテ宜シウゴザイマス、

○國務大臣(渡邊國武君) 極度ト云フコトハ最上限ヲ示シタモノデアアル趣ヲ御答致シマス、地方議會ノ決議ニ依ッテ極度マデ取ルノモアリマセウシ取ラスノモアリマセウ、豫メ極度マデ取ル取ラスト云フコトハ此所デ概定シテ言フコトハ出來マセス、

○子爵谷干城君 議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 谷子爵ハ御質問デアリマス、

○子爵谷干城君 左様デゴザイマス、私ハ政府委員デモ大臣デモ田尻委員デモ宜シウゴザイマス、今ノ武井君ノ御說ハ隨分道理ハアノ通りノ道理ダラウトハ考ヘマスガ自分ノ腹ト多少違ッタ所モアル様デアリマス、是レハ隨分大事ノ御演說デアッタカト考ヘマス、レドウカ折角此案ヲ政府ヨリ出サレテ通過ヲ望マル以上ハ此武井君ノ議論ニ對シテ十分ノ御説明ヲ希望致シタイト考ヘマス、夫レカラ上本員ナドモ亦篤ト考ヘタイト存ジマス、夫レヲ請求致シマス、

○國務大臣(渡邊國武君) 唯今谷子爵ノ御請求ハ武井君ノ御演說ニ付テ本大臣ニ於テ説明セヨト云フ御請求デアリマス、

○子爵谷干城君 全ク大臣ニ御勞ヲ掛ケナクッテモ宜イト斯ク申シマシタ

ガ、今申シマシタ所ハ即チ武井君ノ演說ハ力ノアル演說ト考ヘマス、果シテアノ通りデアアルカナイカト云フコトヲ明ニ御説明ヲ願ヒタイ、武井君ノ御演說ハ御聽取リニナリマセヌデシタカ、

○國務大臣(渡邊國武君) 半ヨリ聽取リマシタガ武井君ノ演說セラレタコトニ付テハ武井君ガ御説明ニナッテ諸君ガ御判別ニナッタガ正當ナコトデ武井君ノ演說ニ付テ説明スルト云フコトハ少シ困却致シマス、

○子爵谷干城君 御困却アラバ仕方ゴザイマセス、

○高木兼寛君 大藏大臣ニ質問致シタイ、本案ハ國家重大ノ問題デゴザイマス、夫レ故ニ政府ヨリ御提出ニナリマシタ理由ヲ十分ニ承ッテ協賛スルトモ又之ヲ否決スルトモ致シタイト思ヒマス、夫レ故ニ大藏大臣ニ質問致シタイト思ヒマス、何卒詳ニ御説明ヲ願ヒタイウゴザイマス、此理由書ノ第七行ニ「然ルニ全國ヲ通觀スルニ今尙ホ負擔ノ偏重ニシテ往々疾苦ヲ免カレサルモノナシトセス故ニ是レ等偏重ノ著シキモノ、ミニ就キ特ニ修正低減ヲ加フルハ蓋シ亦已ムヲ得サルモノト謂フヘシ」トアリマス、是レ即チ本案ヲ提出スルノ理由デアアル、之ヲ人類ニ譬ヘテ申シマスレバ取りモ直サズ疾病デアリマス、即チ是レガ國家ノ疾病デアアル、國家ニ疾病ガゴザイマスレバ必ズ其徵候ト云フモノガナケレバナラス、其徵候ヲ十分研究シタル後ニ始メテ病根ノアル所ヲ知ルト云フ譯デアリマス、夫レ故ニ政府ニ於キマシテモ偏重ノタメニ斯ノ如キ疾苦ヲ生ズル又偏重ノタメニ國家ニ斯ノ如キ有様ヲ生ジテ來タト云フコトヲ御認メニナッタ故ニ人民ノ疾苦ヲ免レザルモノナシトセス之ヲ反言スレバ免レザルモノ多シト云フコトデアリマス、故ニ人民ガ疾苦スルノ徵候……即チ醫者のニ申シマス、其徵候ハ何デアルカ、是レ是レ丈ケノ徵候ガアルニ依ッテ多數ノ人民ガ疾苦スルト認メタト云フコトガ御分リニナッテ居リマセウト存ジマス、其邊ヲ十分ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、

○國務大臣(渡邊國武君) 唯今高木君ノ御質疑ハ政府ニ於テ見ル所ニ依リマス、レバ偏重ナル部分アリト認メマシタノデアリマス、其認メタ材料ハ特別委員ニ夫レ廻ハシテアリマスガ、之ヲ一々此所デ言ヒマス、モ多般ノ表ニアリマスカラ一々申スコトハ出來マセスガ、今日ノ現在ノ地價地租ハ斯ノ如シ又老農ニ依リ種々ナモノニ依ッテ調ベテ見レバ斯ノ如シト云フ表ヲ出シテアリマス、故ニ之ヲ以テ先づ偏重ナル部分ガアルト認メマシタノデアリマス、併ナガラ其實際ノ病狀ガドウコラマデ行ッテ居ルト云フコトハ今一應實際ニ就テ診察シナケレバナラスト云フコトハ特別委員ニモ御斷リヲ致シタコトデアリマス、其大體ヲ達觀スル丈ケノ表ハ出シテ置キマシタ、御入用デアレバ御廻ハシヲ致シマセウ、

○高木兼寛君

更ニ御尋ヲ致シマス、唯今大藏大臣ノ御答辯ニ依リマシテ地價ノ偏重ナルコトヲ認メタケレドモ併シ病症ガドノ位ノ所マデ達シテ居ルカ精細ニ検査シタ譯デハナイト申サレル所ヲ見マスレバ未ダ診斷ハ出來ナイ、診斷ハ出來スガ藥ヲ盛リタイト云フ御趣意ノ様ニ思ヒマス、病症ガ分ラヌノ藥ヲ盛ルト云フノト同ジト思ヒマス、必ズ徵候ニ現レル所ハ蓋シ左ノ數項ニ過ギザルベシト思ヒマス、果シテ地價偏重ノタメニ人民疾苦スレバ納税上ニ關係シテ必ズ影響ヲ來スモノト見ルノデアリマス、夫レ故ニ地價偏重ノ地方ニシテ貧困ノタメ國稅意納ノ者ガ多イノデアリマセウカ、又地價偏重ナル所ニ於キマシテ貧困ノタメ國稅ヲ納メ得ザル者ガ少イト云フコトデアリマス、之ヲ御尋子申シマス、尙ホ續イテ御尋ネ致シマスノガ七八條アリマスカラ御退屈デモ御答辯ヲ煩ハシマス、

○國務大臣(渡邊國武君)

唯今高木君ノ御説ニ如何ナル病症デアルカラ知ラズニ療治ヲスルト云フ御説デアリマシタガ既ニ異狀アル部分ガアルト認メマシタ以上ハ是レハ病ノアルニ相違ナイ、故ニ是レカラ先キ實際ニ就テ取調ベテ十分ニ偏重ナル部分ヲ輕減シテ平均ヲ得セシムル見込デ之ヲ出シマシタ、必シモ如何ナル名醫デモ病狀ヲ一見シテ病ノ輕重ヲ計ルコトハ出來スト思ヒマス、又第二ニハ或ハ租稅不納ナドガアツタカドウカト云フ様ニ承リマシタガ善良ナル國民ハ決シテ偏重ナルモノヲ受ケタカラ不納ヲシテ國家ニ對シテ義務ヲ怠ルコトハナイト思ヒマス、苟クモ國法ノ存スル以上ハ地租ハ納メナケレバナラズ義務ハ果サナケレバナラスノデアリマス、若シ偏重ナルガタメニ不納處分ヲ受クル者多シトスルナレバ輕減シナケレバナラス結果ニナリマスガ政府ハ夫レヲ以テ偏重ナル徵候トハ致シマセス、

○高木兼寛君

大藏大臣ハ本員ノ質疑ヲ誤解ニナリマシタカト思ヒマス、本員ノ質問致シマシタハ偏重ナル地方ニ於キマシテ貧困ノタメ地租ヲ納メ得ザル者ガ多ウゴザイマス、之ニ反シテ偏輕ナル地方ニ於キマシテハ貧困ノタメ地租ヲ納メ得ザル者ガ果シテ少イト云フコトデアリマスルカ、モウ一應御答辯ヲ煩ハシタウゴザイマス、

○國務大臣(渡邊國武君)

偏重偏輕ト云フコトハ比較的ノコトデ地租ヲ納メ能ハザル程ニ極端ニ重イモノトハ申シマセス、故ニ偏重ナルト云フ部分ハ地租ヲ納メラレヌ、偏輕ナル部分ハ納メラレルト云フコトデハゴザイマセス、偏重偏輕トハ比較的ニ彼レヨリ重イト云フコトデ彼レヨリ重イモノヲ負フテ居リマス其部分ハ幾分カ國民經濟ノ發達ノ害ニナルカラ之ヲ減輕スルト云フコトガ必要デアルト云フデ出シマシタ、地租ガ納マラスノデアレバ偏重デアラル然ラザレバ偏重デナイト云フコトヲ本ニシテ言フコトデハナイト思ヒマス、

○高木兼寛君

唯今ノ御答辯ニ依テ益々疑惑ヲ抱キマシタ、地價偏重ノタ

メニ地方經濟ノ發達ニ害ヲ來スト云フ仰デアリマス、然レバ地價偏重ナル地方ニ於キマシテハ殖産興業上發達ヲ害シタ證據ヲ御認メニナツタト思ヒマス、其御認メニナリマシタ箇條ヲ御説明ヲ願ヒマス、

○國務大臣(渡邊國武君)

偏重ナル租稅ヲ負フテ居ル者ハ發達ヲ害スルト云フコトハ是レハモウ夫レ自ラ證據デ他ノ證據ヲ見出ス必要ハナイト思ヒマス、其上ハ高木君ノ御判定如何ニアルト思ヒマス、此上ハ御答辯ノ必要ハナイト思ヒマス、此上ハ徵候ニ付テ御答辯スルノ必要ハナイト存ジマス、

○高木兼寛君

度々起チマスルノモ甚ダ差闊ヘマスルカラ質問ヲ致シタイ箇條ヲ並ベテ申立テマスカラ此御答辯ヲ冀ヒマス、本員ハ大藏大臣ハ偏重偏重ト仰シラレルケレドモ本員ノ御尋ネ申シタイノハ偏重ノタメニ起ツタル所ノ疾苦デアルト云フ政府委員ノ説明ヲ揭ゲテアリマス、此疾苦ノ徵候ヲ承リタイ、此偏重ナルト云フコトハ先キニ御演説ノ通り又議員ノ方ヘ御廻ハシニナリマシタ報告書ヲ見レバ明瞭ニ分ツテ居リマス、夫レヲ疾苦ト大藏大臣ガ申サレルナラバモウ別ニ御尋ヲスル次第ハナイデアリマス、度々ノコトハ御迷惑ト思ヒマスガ今日ノ所デハ人民ガ疾苦ヲスルノヲ免レル様ニ救ハネバナラスト云フノハ所謂偏重ヲ免レルモノヲ少クシヤウト云フ御趣意デアルト云フノデゴザリマス、是レガ若シ此儘ニ存スレバ現在疾苦ガアル、其疾苦ハ斯ノ如キモノデアルト云フ御説明ガ出來マスル次第デゴザリマスレバ本員ガ意見ヲ蓄ヘテ居リマスル所ノ六七箇條ノ質疑ヲ致シタウゴザリマス、

○國務大臣(渡邊國武君)

御尋ノ通りデアリマス、

○子爵島尾小彌太君

議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

御質問デスカ、

○子爵島尾小彌太君

ハイ政府委員ナリ大臣ニ向ツテ聊カ質問ガ致シタウゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

宜シウゴザリマス、

○子爵島尾小彌太君

本員ハ此案ヲ提出サレタ時ニ當ツテ……併シ速記録ナドニ據ツテ認メタル所ヲ見ルト衆議院ニ於テモ又貴族院ニ於テモ此地價特別修正ノ案ハ酒造稅並ニ菓子稅ト聯帶ヲシテ居ル所ノ案デアルト云フコトハ明ニ大藏大臣ガ議場ニ向ツテ公言ヲサレテ居ル様ニ思フ、所ガ此酒造稅並ニ菓子稅ナルモノノ法案ナドハ衆議院ニ於テ否決サレテ仕舞ツタ、大イニ此ニ於テ政府ノ冀望ハ敗レテ居ルモノデアリマス、併ナガラ此案ヲ貴族院ニヤツテ政府ガ撤回ヲナサラス所ヲ見ルト、若シ此案ガ通過シタ曉ニハ政府ガ自ラ提出シタ所ノ議案デアアルニ依ツテ斷然此案ヲ御實行ナサル御覺悟デアルト云フ様ニ本員ハ認メマス、併シ前ニ於テハ政府ノ説明ガ稍、言葉ガ濁ッテ居リマスカラ夫レヲ本員ハ此ニ於テ政府ノ決心ヲ認メル必要ガアルト思ヒマス

カラ是レハ明ニ御答辯ヲ願ヒマス、

○國務大臣(渡邊國武君) 鳥尾子爵ニ御答ヲ致シマス、此案ニ付テハ唯今御陳述ノ如ク衆議院ニ於テモ彼ノ三稅案ト相聯關シテ議決セラレムコトヲ主張致シマシタ譯デアリマス、又當院ニ於テモ是レハ一案ノミ單獨孤行致スコトハ出來ヌト明言シテ居リマス、故ニ將來ノ結果ニ依リマシテハ行フベカラザル結果ヲ得マスルカ又國家ノタメニ然ルベカラザル結果ヲ得マスレバ政府ハ責任ヲ帶ビテ自ラ處スル所ガアリマスル見込デアリマス、

〔男爵小澤武雄君演壇ニ登ル〕

○男爵小澤武雄君 諸君、本員ハ此地價特別修正法案ニ賛成スルモノデアリマスルガ特別委員會ニ於テハ少數ニシテ敗ヲ取リマシタ、夫レデ少數意見トシテ意見書ヲ差出シテ置イタコトハ今朝會我子爵カラ御報道ニ及ンダ通りデアリマスル、凡ソ事ヲ論ジマスルニハ其事柄ノ價值即チ價ヲ審ニ先ヅシテ置カナケレバナラヌモノト考ヘマス、此特別地價修正法案ハ如何ナルモノカト申スト抑、我が皇國ハ古來ヨリ農ヲ以テ本トスル所デアッタ所謂農業國デアリマス、又國庫ノ歲入ハ土地ニ課スル所ノ稅ガ其過半ニ居ルコトデアアル、即チ農民ガ粒々辛苦スル所ノ膏血デアアルノデス、之ニ賦課シ徵收スルノ方法デアリマスルカ務メテ公平均一ナラザルコトヲ得マセヌ、此地價ト申スモノハ租稅ヲ賦課スル所ノ基礎デアリマスル、基本デアリマスル故ニ地價修正法案ハ我が國民ニ對シテ非常ナ痛痒ヲ與フルモノデゴザイマスレバ實ニ重大ナル問題デアルト考ヘマス、重大ナル價值ヲ持ッテ居ルト考ヘル、實ニ國家ノ安危興廢ニ關スル程ノ價值ヲ有スルモノデアリマス、之ヲ論ズルニ付テハ深ク熟考ヲ要スルコトト思ヒマスル、又同ジ法律案デアッタモ現時ノ必要ニ依ッテ提出サレルモノト種々ナル原因若クハ歴史ヲ有スルモノノ區別ガアリマスル、此地價修正法案ノ如キハ頗ル歴史ヲ有シテ居ルモノデアルト本員ハ考ヘマス、即チ明治六年ノ地租改正ノ詔及達ガアリマシテ今日ノ如キ地價ノ不公平不均一ヲ生ジタ基トナリマシタ、是レハ其當時ノ官吏ノ施行上ノ處置ノ不十分ナル所ノ遺物デアルト云フヨリ外ハナイ、夫レヨリ明治七年ニ地租ハ五箇年毎ニ改正スル所ト云フ布告ヲ發セラレマシタ、此布告ヲ以テ其當時地租改正ノ當時ニ於テ人民ノ色々苦情ガアッタ居ッタノヲ僅ニ慰メテ五箇年間毎ニ改正スルモノデアルカラ種々ナコトヲ申立テズトモ五箇年間待テトスウ云フ様ナコトデアアル、夫レデ人民ハ勿論五箇年間ヲ忍ンデ待ッテ居リマシタ、然ルニ明治十三年ニ至ッテ改正ハ來ル十八年マデ延引スルト斯ウ云フ達ガ出マシテ人民ヲシテ大キニ落膽ヲセシメタ譯デアリマス、併ナガラ尙ホ五箇年間辛抱サヘスレバ改正ヲサレテ人民ノ苦痛ヲ救ハレル望ガアルニ依ッテ彼ノ善良ナル所ノ農民ハ唯十八年ヲ望ンデ待ッテ居リマシタ、然ルニ豈

圖ラムヤ此十七年ニ於テ地租條例ト云フモノヲ發布セラレマシテ其條例中ニ地租ヲ改正スル時ハ前以テ公布スベシト云フ様ナ意味ノ僅々ナル文字ヲ以テ五箇年毎ニ地租ヲ改正スル所ト云フノ約束ヲ抹殺セラレタ譯デアリマス、抑、此五箇年毎ニ改正スベシト定メラレタノハ地租ハ最初改正ノ時ニ當ッテ種々ナルコト即チ偏輕偏重ナドノ難ガアルカラ改正ヲ要スル譯デアアル、又自然ニ改正ヲ要スル事柄モ生ジテ來ルト云フコトヲ認メテ定メラレタルコトニ外ナラヌト存ジテ居リマスル、之ヲ右申ス通りニ抹殺シテ仕舞ヒ、改正ヲ望ムコトハ毛頭打チャツナクナリマシタ、夫レデ農民ノ感覺ト云フモノハ實ニ推知スベキデアリマセウ、然ルニ明治二十二年ニ於テ時ノ政府ハ地價ノ偏輕偏重ナルコトヲ改メルノハ已ムヲ得ナイコトトシテ國庫ノ財源ノ許ス限ニ於テ特別地價修正ヲ行ハレマシタ、然ルニ此少數ノ修正ハ未ダ地價ノ不公平ヲ醫スルニ足リマセヌ、農民疾苦ノ聲ハ決シテ止ミマセナカッタ、夫レデ二十三年ニ帝國議會ノ開會ト共ニ人民ノ請願トナリ衆議院ノ法律案トナッテ今日ニ及ンダ譯デアリマス、即チ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、此第四議會開會ノ期ニ當リマシテハ請願書ヲ提出シ又ハ委員ヲ上京セシメテ熱心ニ地價特別修正ノ希望ヲ表スルモノハ既ニ二府二十二縣ニ及ンデ居リマス、既ニ全府縣ノ過半數ニ及ンデ居リマス、故ニ政府モ悟ル所ガアリマシタカ此法案ヲ提出セラレタ譯デアリマセウ、即チ是レガ此地價特別修正ニ關スル歴史ノ概略デアリマス、前議會ニ於テ衆議院提出ノ地價修正法案ヲ議スルニ當リマシテ地價修正ハ一部人民ノ主張スルマデデアッタ決シテ全國人民ノ欲スル所デナイカラ願ルニ足ラヌト云フ如キ議論モアリマシタ、然ルニ今日ハ全國府縣ノ數ニ比シテ其半數以上ニ居ル所ノ府縣ノ望ンデ居ル所ト云フコトハ明瞭ナコトデアリ、又全國ヲ代表スル所ノ衆議院ニ於テハ再三再四此法案ヲ可決シタニ徵シマシテモ今日輿論ノ歸スル所ヲ認ムルニ足ルコトト思ヒマス、況ヤ政府カラ提出スル程ニ及ンデ居リマスル所ノ最早疑モナイ、即チ今日ノ輿論ト思ハナケレバナラス、然ルニ或ル論者ハ地價ノ偏輕偏重即チ此不公平ト云フコトハ認メテ居ルケレドモ地價ノ公平均一ニスルノハ所謂偏輕ノモノト同一ニ及ブマデ輕減セバ修正ノ詮ガナイト云フ說ヲ委員會ナドデモ承リマシタ、此論ハ地價修正デナクッテ地租輕減說ニ髣髴タルモノノ様ニ思ハル、修正ノ眞意ヲ得タモノデハナカラウカト思フ、ナゼナレバ此問題ハ今ノ偏輕偏重ノ偏ノ字ヲ眼目トセバナルマイト思フ、偏輕ハ即チ地價ノ宜シキヲ得タル所即チ中庸デハナイ、即チ偏輕デアアル、中庸ハ偏輕ト偏重ノ中間ニ位スルモノデアルト思ハル、夫レデ此法案ニ示サレマシタ通り一億四千萬圓乃至一億五千萬圓、斯ク修正スレバ即チ中間ノ適當ナル地位ヲ得ルモノデアアルノデス、是レハ委員會ニ於テ國務大臣ニモ質問ヲシテ此法案ヲ實行スレバ再ビ修正ヲ要スル如キ

コトハナイカト云フコトヲ尋ネマシタラバ再ビ修正スル様ナコトハナイト云フ政府ノ考デアルト云フ御答デアリマシタ、依ッテ本員ガ之ヲ考ヘテ見ルト全國ノ偏重ナル府縣ハ二十四府縣デアリマス、偏重ナル地價ヲ修正シテ適當ナル所ニ留メレバ其他ノ二十一府縣ハ即チ今日カラ見ルト偏輕ナル部分ニ屬スルモノデアル、依ッテ今後又特別地價修正ノコトニ付テ苦情ノ起ルベキ筈ハアリマス、サウシテ見レバ全國四十五府縣ガ始メテ略々公平均一ニ近ヅクモノデアルト云フコトヲ得ヤウカト思ヒマス、斯ノ如クシテ始メテ明治六年ノ聖詔ニ述ベラレタ所ノ賦ニ厚薄ノ弊ナク民ニ逸勞ノ偏ナカラシメムトスル 聖旨ノ幾分ヲ實行サル、コトヲ得ルト思フデアリマス、又或ル論者ハ今偏重ノモノヲ修正セムカ其實施上ニ於テ異論百端收拾スベカラザルニ至ッテ憂ヲ後年ニ貽スデアラウト斯ウ云フ論旨カラシテ今日ハ此地價修正ハ行ハヌガ宜イト云フ說モアリマスガ、成程夫レガタメニ又論ノ起ルマイトハ本員モ思ハヌガ、併ナガラ二十二年ニ於テ既ニ行フタ實例モアリマスル決シテ實行ニ差支ナイコトト思ヒマス、尙ホ前ノ論者モ二十二年ハ專制政治ノ下デアッテ恩惠のニ行フタモノデアルガ今日ハサウデナイ、權利的ニ依ッテ論ズルモノデアルカラ二十二年ト同一ノ比デナイト斯ウ云フコトデアル、是レ亦其論者ノコトガ一理ナイデモアリマセヌガ、併シ又善良ナル所ノ人民ハ今日マデ請願其他種々ノ方法ヲ以テ地價修正ヲ希望シテハ居リマスガ未ダ權利的ニ修正ヲ論ジタモノハ聞及ビマセヌ、若シ今日ニ於テモ行ハズ此儘段運ビマシタナラバ或ハ權利的ニ訴ヘル者ガ出來ルカモ知ラス、故ニ今日ハ甚ダ修正ヲ行フタメニハ洵ニ好時機デアルト考ヘルノデス、又行フタ上ニモ議論ノ多少アルト云フコトハ前申シタ通りデアリマスガ、之ヲ行ハナカッタ日ニ於テハ如何デゴザイマセウ、既ニ今日デサヘガ兩議院ニ向ッテ請願ヲナシ又陳情委員トカ其他種々ノ名義ヲ以テ日夜東西走シテ居ル所ノ人民ハ澤山ノ數デアル、之ニ費ス所ノ金錢ト努力トヲ計算シテ見タラ驚クベキニ至ルデアラウト思ヒマス、夫レデ此行フ前ト行フ後トノコトヲ比較シテ見マシタレバ實行シタ後人民ガ安堵シテ苦情ノ少イト云フコトハ比較的少イト云フコトハ推測スルニ難カラヌコトト思ハレマス、實ニ此法案ヲ遂行スベキ好時機ト信ジテ居リマス、反對論者ト雖モ地價ノ偏輕偏重ヲ認メヌデハナイ、前申シタ外ニ反對スル所以ハ今日ハ國防軍備治水等ノ緊急ナル事項ガ澤山アル、夫レ等ノコトヲ先キニセバナラヌ、夫レデアアルカラ左様ナ事ノ濟ムマデ十年ナリ十五年ナリ待ッテ宜イト斯ウ云フ論者モアリマス、其論者ノ說ノ通りニシテ國家事業ノ後デナケレバ地價修正ヲ行フコトガ出來ストシタナラ猶ホ諺ニ云フ所ノ黄河ノ清ムヲ俟ツニ同ジ様ナモノデゴザイマセウ、本員ハ勿論同意スルコトハ出來マセヌ、併シ本員等ト雖モ國防治水等ヲセンデモ宜シ、唯地

價特別修正丈ケデ宜イトハ申サナイ、今日ノ政府ノ意見ニ於テモ地價修正ト國防治水ノ事業ト同時ニ實行セムトセラレテアルモノノ様デガスカラ地價ヲ修正シテ偏輕偏重ヲ均一ニシ人民ノ疾苦ヲ救済シマスレバ即チ國力發達ノ基トナル譯デアリマス、カハラ本員等ハ切ニ此改正ヲ望ムモノデアリマス、デ以上陳述シマシタ通り此法案ハ大イニ原因ト歴史ト有スルモノデアリ、又輿論ノ歸スル所デモアリマス、又今日行ハナケレバナラヌ時機デモアルト信ジマス、依ッテ諸君ハ御熟考ノ上即チ此案ノ可決セラレムコトヲ望ミマス、

○高木兼寛君

質問ヲ致シタイ、本員ハ本案ノ賛不賛ニ付テハ未ダ十分ニ決スルノ材料ヲ得マセヌカラ成ル丈ケ材料ヲ多クシタイト云フデアリマス、御演說中ニ地價ノ偏輕偏重ト中等ト此三ツヲ舉ゲラレマシタガ其中等ナル所ヲ適當ノ地價、適當ナル地方ト見タト云フコトダガ、此差ガアルニ依ッテ國力發達ニ妨ヲナシテ居ルト云フ様ニ聽取リマシテゴザイマス、シテ見レバ既ニ偏重ナル所ニアリマシテハ疾苦ノ證據ガ現ハレテ居ラウト思ヒマス、又偏輕ナル所モ適當トハ仰ッシヤラスノデ是レハ偏輕デアアル、適當ナル所ハ即チ地價ノ中等ナル所ト仰ッシヤル、シテ見レバ偏輕ノ所モ何カナクッテハナリマス、然ラバ適當ナル地價ト云フコトハ出ル所以ガ分リマセヌ、故ニ偏輕ノ地方ニ於テハ如何ナル社會ノ現象ガアリマセウカ、中等ナル所ハ如何ナル現象ガアリマセウカ、偏重ノ所ハ如何ナル疾苦ノ徵候ガアリマスカ、此邊ハ極御判定ノ様ニ聽取リマスカラ之ニ對スル說明ヲ願ヒタイ、

○男爵小澤武雄君

御答ヲ致シマス、適當ナル所ト云ヒ又疾苦ノ度合ト云フコトハ第一ニ此政府提出ノ理由書ニ書イテアルニ依ッテ如何ナル事柄デアアルカト思ッテ國務大臣ニ委員會ニ於テ質問シマシタ所ガ即チ其偏輕ト云フモノハ偏輕デアアルガ夫レト偏重トノ間ニ適當ノ場所ガアル、夫レ丈ケ一億四千萬圓乃至一億五千萬圓修正スレバ夫レガ適當ナル所デアアル、斯ウ云フ答デアアル、又疾苦スル所モ說明書ニアル通りデアリマス、カハラ國務大臣ノ言ヲ信ジテ決シマシタコトデアリマス、カハラ夫レカラ上ノコトハ國務大臣ニ御尋ニナッテ然ルベシ、

○高木兼寛君

然ラバ疾苦ト云フコトハ曩ニ本員ガ國務大臣ニ問フタコトハ御了知ノコトデアリマセウ、本員ハマダ疾苦ト云フコトハ分リマセヌデアリマス、疾苦ハ偏重ダト云フ國務大臣ノ御答辯デアリマシタ、然ルニ小澤男爵ハ國力ノ發達ヲ促スト云フコトヲ言ハレマシタカラ疾苦ト云フコトハ能ク御分リナリマシタコトト信ジテ質問致シマシタ、ケレドモ國務大臣ガ疾苦ハ偏重ト云フ字ダ或ハ偏重ト云フ字ニ解セルト云フ御答辯ニ御同意ノコトデアリマス、更ニ御尋ネ申スコトハゴザイマセヌ、

〔小原重哉君演壇ニ登ル〕

○小原重哉君 諸君、本員ハ此法律案ニ付キマシテハ反對スルノ一人デゴ
ザイマス、シテ本員ト同ジキ反對者タル武井君ガ述べ殘サレタト云フ點ト別ニ
思慮シマシタ點ヲ玆ニ聊カ陳言致シマスカラ暫時ノ間高聽ヲ願ヒ置キマス、
政府ガ此地價特別修正法案ヲ提出サレマシタルハ地價ノ偏重ナルモノヲ低減
シテ土地所有者ノ負擔ヲ輕ルメトスル要旨デアルコトハ此法律案ノ理由書
ニアル通りデゴザイマス、然ル所此地價ヲ低減スレバ是レト同時ニ地方稅ヲ
割付ケル所ノ標準ガ低減致シマシテ土地ヲ多ク所有スル者程地方稅ノ負擔ガ
多ク減リ其上ニ尙ホ田畑ノ地租ガ減ル、之ニ反シテ僅ノ宅地バカリヲ所有ス
ル者等ト借地ニ住居スル者等ノ如キニ至リマシテハ家屋稅其他各地方稅ノ負
擔ハ今日ヨリ大イニ増スノデゴザイマス、萬一此ノ通りニナリマシタ時ハ細
民ハ年々歲々割附ケラル、其租稅ノ重キニ堪ヘマセズ公賣處分ナドヲ受ケ
遂ニ家ヲ離レ居村ヲ去リ憫レトモ悲シイトモ名狀スベカラザル痛苦ノ境ニ陷
ルベキハ疑ハザルコトデアアラウト存ジマス、實ニ細民ハ何ノ罪アッテ其様ナ修
羅界ニ投沒セラレムトスルノデアアルカ、此レハ是レ既ニ武井君ガ述べラレタ
如ク地方稅ノ徵收法ハ地租ノ三分ノ一ヲ超エルコトガナラナイ法デアアルカラ
ノコトデゴザイマス、斯ノ如キ弊害ノ起ルベキ恐アルコトデアアルニ政府ハ此
法案ヲ提出シテ民福ヲ與ヘムト企テ地所有主ノ幾何ノ人ハ今度コソハ渡リ
ニ船ヲ得タリト雀躍シテ喜ブト云フハ恐ラクハ天下ノ細民ガ名狀スベカラザ
ル痛苦ノ境界ニ陷ル虞アル點ニ誠ニ憚リ多イコトナガラ上下トモ未ダ心附カ
ザリシコトデアッタニ相違ナイト推測ラ下スノデゴザイマス、若シヤ之ヲ知ッ
タ後ニ於テモ尙ホ地價修正ヲ請願スル如キ者ガアッタナラバ是レゾ目シテ人
外ノ無慈悲者トシテ瓜彈キセネバナラヌト存ジマス、從來未ダ細民ニ對シ
テハ官民共ニ考慮スル所ガ甚ダ深カラザルニモ拘ラズ、土地所有主ハ明治七
年以後二十二年ニ至ル間ニ地租金三千六百三十一萬九千五百餘有圓ト云フ減
少ノ利澤ヲ受ケタルコトデゴザイマス、シテ謂フ所ノ小作人ノ如キ所ノ細民
ハ依然タル舊時ノ農民デゴザイマス、シテ維新以來毫モ利益シタルモノハ
ナイノデゴザイマス、地價修正ヲ希望スル論者ノ一本鎗トシテ唱ヘマス如ク
ニ明治七年及十三年ノ布告ニ依テ地租ガ改正ニナッタナラバ如何ナル結果ヲ
現シ來ッタデアアラウカト云フコトヲ今玆ニ申述ベマスルガ、地租改正ノ地價即
チ現今ノ地價ハ石代金四圓十八錢二厘ニテ其地價十四億七千九百五十四萬七
千三百九十六圓トナル、此二箇半ノ地租ハ三千六百九十八萬八千六百八十四
圓九十錢トナル、此地價ニ基キマシテ初度ノ五年目即チ十四年ニアッテ改正ガ
行ハレタナラバ石代金六圓一錢七厘デアアルカラ地價ハ増シテ二十一億二千
七百五十八萬九千五百五十五圓四十四錢八厘トナル、此地租ハ五千三百十八萬

九千七百二十八圓八十八錢六厘トナルノ算デゴザイマス、其第二、五年目即チ
十八年ニアッテ改正カ行ハレマシタナラバ石代金六圓五十五錢三厘デア
ルカラ地價ハ増シテ二十二億八千四百六十六萬二千八百四十三錢二厘トナ
ル、此地租ハ五千七百三十三萬六千五百五十二圓十一錢六厘トナル、之ヲ現今ノ
地價ニ照シテ差引致シマスト地租ニ於テ二二〇〇四萬七千八百七十二圓十六
錢ト云フ多額ノ増地租ヲ納メスケレバナラヌ譯デゴザイマス、其第三、二十三
年ニ改正ガ行ハレマシタナラバ石代金五圓四十八錢九厘デアアルカラ地價ハ十
九億四千六百六十六萬六千八百八十三圓五十五錢二厘トナル、是レハ即チ二十二
年ニ地租三百二十萬圓ヲ減少セラレマシタ譯ニ依ッテ一億二千七百萬圓ト云フ
多額ノ地價ガ減少致シタカラノコトデゴザイマス、然ルニ拘ハラズ地租ノ金
額ハ四千八百五十二萬九千五百五十四圓五十八錢九厘トナル、之ヲ現今ノ地租
額ニ比較致シマスレバ一千五百五十四圓〇四百六十九圓六十錢ト云フ金額ガ増
加スルノ算デゴザイマス、以上述べマシタ通りニ成リ行クベキ所ヲ此改正ガ
行ハレズシテ幸福ナルカナ土地所有主ハ前ニ申シタ通り三千六百九十八萬八
千〇〇四圓金ト云フ減租ノ幸ヲ受ケマシタノデゴザイマス、現ニ夫レガ事實
デゴザイマス、土地所有主ガ恩澤ヲ受ケタル一原因ノ證據トシテ概舉シテ
申マスレバ現地價ノ比例ニ於テ其地價ノ頗ル高イ中國東海道其他……中國ハ
取消シマス……東海道其他地方ノ地主ガ手作ニシナイ小作人ニ任セテモ利
益ニナルト云フ其分合ハ中等以上ノ田畑ニテ通例ヲ舉ゲマスレバ、田地一段
地價五十圓、小作米一石此代價六圓六十六錢六厘、但シ一圓ニ付テ一斗五升
換ノ見積リデゴザイマス、地租金一圓二十五錢是レ即チ地價二分五厘、諸入費
村稅マデ込メテ地租ノ七分即チ金八十七錢五厘、右地租費用二口合セテ金二
圓十二錢五厘、此合金ヲ小作米代價ノ六圓六十六錢六厘ノ中ヨリ引去リマス
時ハ殘リ純益金四圓五十四錢一厘トナル、デ地價金ニ對シマスレバ九朱強ノ
利子ニ當ルノデゴザイマス、即チ地價金ニ對シテデゴザイマス、畑一段ニ付テ
地價金二十圓、小作金五圓、但穀物小作ナラバ大麥一石大豆四斗位、此價ガ金
五圓ニ相當スル算デゴザイマス、地租金五十錢、諸費用村稅ト込メテ地租金ノ
七分即チ金三十五錢、右地租諸費用二口合セテ金八十五錢、此合金ヲ小作金五
圓ノ内カラ引去リマスレバ殘リガ即チ純益金四圓十五錢トナル、地價金ニ對
シマスレバ二割強ノ利子ニ當ルノデゴザイマス、斯ル次第デゴザイマスルカ
ラ本員ノ考ヘマスルニハ此田畑地價修正ヲナサムヨリ寧ロ郡村宅地ノ地價ヲ
低減シテ年中泥ニ塗レテ齷齪ト稼ギ居ル所ノ細民ニ普ク恩澤ヲ蒙ラシムルノ
優レルニ如カスト存ジマス、斯ノ如クナッタナラバ是レゾ誠ニ民力ノ休養
デアラウ、民ノ疾苦ヲ免レシムルデアラウ、又爲政ノ操縱ニ適スルデアラウ
ト深ク信ジテ疑ヒマセヌノデゴザイマス、何トナレバ細民即チ小百姓小作人

ノ如キ者ハ多クハ別ニ資産ヲ有シマセヌモ住居ノ茅屋ト宅地トハ大概所有
シテ居ル實況デゴザリマスルニ依ッテ其宅地ノ租稅ガ減ジマスレバ眞ニ恩澤
ニ感泣スルコトデアラウト信ジマスルノデ、故ニ本員ニ於キマシテハ地主長
百姓ヲ勞ハルコトヲ恐レマシテ未ダ愁訴ノ泣聲ヲ立テ得ナイ所ノ憫レムベキ
細民ニ代ヘルノ意デ此情狀ヲ申述ブルノデゴザリマス、此憫ムベキ細民ノ上
ヲ深ク思ハズ地方稅ヲ減少スベキ順當ノ付度モ、假令ナラナイデモ、スル様
ナコトニ顧ルノ暇ナク唯一ニ地價修正ノ希望ヲ遂ゲサヘスレバ宜イト云フ様
ナ人ガ若シヤアッタナラバ其人ノ心術ハ恰モ二月ノ日數ヲ殖ヤシテ三十一日
ニセテバ經濟ガ立タスト云々話ト一般デアラウト存ジマス、故ニ本員ハ此
法案ハ大イニ細民ヲ凌轢スルノ恐ガアル細民ヲ針ノ蒂ニ臨マシムルノ恐ガア
ル、斯ク認メマスルニ依ッテ現在ノ儘ノ地方經濟ノ有様デハ眞ニ細民ノ痛苦
スル恐ガアルカラ夫レ故反對スルノデゴザリマス、諸君ニ於カレマシテモ寒
民ノ永劫ノタメヲ思召シマシテ本員ニ御贊同アラムコトヲ只管希望致シマス
ルノデゴザリマス、

○林宗右衛門君 小原君ニ質問致シマス、唯今御述ベノ中デ石代ガ五年目
五年目ニ減ジテ見ルト追々地價ト云フモノガ高クナル、高クナレバ夫レニ應
ジテ地租ト云フモノガ高クナルト云フ様ナ御説ニ付キマシテ一番最近ノ地價
額ヲ一應承リタウゴザイマス、

○小原重哉君 一番近イ所デスカ、

○林宗右衛門君 左様、

○小原重哉君 ハイ地價ハ十九億四千一百十六萬六千一百八十三圓五十五
錢二厘、

○子爵五條爲榮君 私ノ通告ハ末ニナッテ居リマスガ極簡單ニ一言述ベマ
スレバ宜シウゴザイマスガドウカ御變更ヲ願フコトハ出來マセスカ、私ハ後
トニナッテ居リマスケレドモ唯今コノ所デ一言述ベレバ宜シウゴザイマス
カラ……

○議長(侯爵須賀茂韶君) 夫レハ順序ガ狂ヒマスコトハイケマセヌ、御
申合セデ御變ヘニナルガ宜シウゴザイマス、否ラザレバイケマセヌ、御

○子爵五條爲榮君 夫レナレバ宜シウゴザイマス、此後ニ相對デ相談ヲ致
シマス、

(林宗右衛門君演壇ニ登ル)

○林宗右衛門君 諸君、私ハ此政府提出即チ田畑特別修正法律案ニ大賛成
ノ一人デアリマス、夫レニ付キマシテ諸君モ御承知ノ通り初期ノ國會ヨリ衆
議院カラ數回送付ニナリマシタ案デゴザイマス、即チ此偏輕偏重ノコトニ付
キマシテ既ニ第三回即チ昨年ノ六月四日デアリマシタカ本議ノ時分ニ縣ト縣

トノ歩合ナリ委シク本員ノ調べマシタ所ヲバ述ベマシタコトデアリマス、今
更其儀ハ再言致シマセヌデアリマス、併ナガラ此修正ノ必要缺クベカラザル
ト云フコトニ付キマシテ二三件此場合ニ於キマシテ述ベマスノモ敢テ無用ノ
コトデナイト考ヘマスルカラ暫ク先輩諸公ノ御清聴ヲ煩ハシマシテ公明ナル
御判斷ヲ願ヒタイト存ジマス、先刻カラ彼ノ歩合算出上ノ儀ニ付キマシテ反
對論者ハ種々ニ御述ベニナッタコトデアリマス、私モ此地租ナリ或ハ地方稅ノ
七分ノ一トカ五分ノ一トカ云フコトニ付キマシテ委シク自分ノ所見ノ所ヲ述
ベタイデアリマス、第一番ニ午前ニ於キマシテ武井君ノ御説ハ甚ダ私共ハ感
服シナイ、ドウモ了解ニ苦シム御説デアリマス、幸ヒ大臣モ御臨場デアリマ
シタカラ其七分ノ一或ハ五分ノ一ト云フモノハ所謂地租ノ二箇半ノ如キ地價
ニアレ丈ケノ歩合ト云フモノハ悉ク取ルベキモノカ否ヤノ點ニ付キマシテ確
リハナイ、併シ極度ヲ示シタモノデアルト云フコトノ御答辯デアリマシタ、勿
論我々モ是レハ極度ヲ示シタモノデアルト云フコトハ豫テ心得テ居ッタコト
デアリマス、此七分ノ一以上極度マデ取ルト云フモノハ豫テ昨年デアリマシ
タカ兵庫岡山徳島此三縣ノ水害ノ如キデアリマス、斯ル場合ニハ已ムヲ得ズ
極度マデ取立ツルコトニ相成ルノデアリマス、最早極度以上ハ國庫ノ支辨ヲ
仰グト云フ様ナ場合ニナルノガ事實デアッタ決シテ今地租ノ二箇半ノ如キ是
レマデ三分ノ一ノモノヲ六分ノ一トナッタ以上ハ其歩合ガ悉ク合セテ八百七
十一萬トカ御申述ベニナッタデアリマスガ、必ズサウ云フ工合ニ事實ニ於テ往
クベキモノデアリマセヌ、尤モ武井君ナドハ此特別委員ノ御一名デアリマ
スカラ斯ル御議論ヲ以チマシテ之ガ否決ノ或ハ一材料トナッテ居ルカト思ヒ
マスト甚ダ遺憾ニ堪ヘヌデアリマス、依ッテ私ノ考ヘマスル所ハ即チ其府縣
府縣ニ於キマシテ地方費ナリ或ハ町村會ニ於テハ町村費ト云フモノハ夫々府
縣會ナリ町村會ノ議スル所ト相成ルカラ其總額ノ中地方稅デアルナラバ御承
知ノ如ク營業雜稅或ハ夫レニハ種々ノ雜收入ト云フモノモアリマス、其引
殘ノ殘金ヲ以テ大抵其府縣毎ニ慣例ガアリマシテ其殘額ヲ或ハ七分ハ地租ニ
割リ、殘ル三分ハ戶數ニ割ル、四分六トカ、大抵年内ノ其土地ノ情況ニ依ッ
テ即チ歩合ガ相定メテ居ルモノデアリマス、既ニ先刻申述ベマシタ彼ノ兵
庫縣外二縣ノ時分ニモ國庫支辨ヲ請求セラル、ニ付テハ其縣々ノ地方稅ハド
ウ云フ工合ニナッテ居ルカ、戶數ハドウウナッテ居ルカ、或ハ營業稅ハドウナッ
テ居ルカト云フコトモ本員等ハ尋チマシタコトデアリマスガ、大抵兵庫縣
ハ兵庫縣、岡山ハ縣岡山縣、徳島縣ハ徳島縣デ、戶數ハドノ位、營業ハドノ
位ト云フ習慣ノアルアッテ實地ニ於キマシテ其府縣或ハ町村ハ町村毎ニ習慣
ガアッテヤッテ居ルコトデアリマス、必ズ三分ノ一ガ五分ノ一ニナッタニ依ッテ

十三錢三厘三三ト云フモノガ必ズ低クナルト云フガ如キコトハ決シテ事實ニ於テナイコトデアリマス、尙ホ夫レハ統計年鑑ニ就キマシテ御覽ニナッテモ能ク分ラウト思ヒマスガ、此統計ニ地方税ノ統計モアリマシテ中ニ戸數割地租割徵收方ハ必ズアルコトデ、其地租割ヲ現在ノ地價ニ割ッテ見マスレバ必ズ極度ニ取ッテ居ルカ否ヤハ是レハ明々白々申スマデモナイコトト私ハ考ヘマス、然ルニモ拘ハラズ是レ等ノ材料ヲ以テ之ガ否決ノ一材料トナルノハ實ニ嘆ハシイ次第デアリマス、是レハ先刻修正委員ノ一人ナル武井君ノ御説ニ付キマシテ一言致シテ置キマス、次ニ小原君デアリマシタカ是レハ五箇年平均五箇年毎ニ改正スルト云フ説ガアリマシタ、果シテ之ガ五箇年毎ニ改正シタナラバ段々米價ノ騰貴カラシテ大變ナル地租ト云フモノガ増額セニヤナラズ筈ノモノデアアル、即チ最近ノ所デアルト云フト千百五十二萬六千圓程増額スルト云フ様ニ私ハ聽取リマシタ、之ニ付テ少シク最近ノ地價額ト云フモノヲ聽落シマシタカラ御承知ノ如ク後トデ質問致シマシタ、然ルニ段々五箇年五箇年ニ改正シテ往キマシテ一番最近ノ地價ヲ尋ネテ見マシタラバ十九億四千六百六十六萬六千某ト云フ御答辯デアリマシタ、是レハ成程米價ガ段々騰貴致シマシタカラ偏重ノ收穫ヲ捨テ置イテ地價ノ元タル收穫米ト云フモノヲ其儘ニシテ置イテ唯石代バカリ改正シタラ或ハ御説ノ通りデアリマセウ、併ナガラ萬一御説ノ如クニシテ本員等ガ考ヘテ見マスト甚ダ御勝手ナル考ト謂ハザルヲ得ヌノデアリマス、如何トナレバ成程一方ニ五年毎ニ改正シタナラバ御説ノ通りデアリマス、是レハ即チ明治七年二百七十二號ノ布告ニ依リマシテ五箇年毎ニ改正ノコトト考ヘル、然ラバ之ニ對シマシテ私ハ却ッテ小原君ノ千百五十四萬ノ地租ヨリハアレガ今迄實行ニナッテ居タナラバ地租ハ二千九百一十一萬餘圓減租ニナルト確信シテ疑ヒマセヌ、何トナレバ二百七十二號ノ六章ヲ見レバ分ル、物品税ガ二百萬圓ニナレバ地租ハ百分ノ一ニスルト云フコトガ此二百七十二號ニ對シテ人民トノ約束デアリマス、然ルニ先刻尋ネマシタ十九億四千六百六十六萬六千圓ト云フ地價ヲ見マスト是レハ百分ノ一トシタナラ等差ガ出テ即チ十分ノ一デアリマスカラ千九百四十一萬圓ト云フ地租デアリマス、現今ノ地租ハト申スト御承知ノ通り三千八百何十萬ト云フノデアリマス、然ラバ十九億何十萬ト云フモノハ此二百七十二號ガ實施セラレマシタナラバ必ズ夫レ丈ケ減ジナケレバナラズ筈デアアル、然ルニ御勝手ノ惡ルイ六章ヲ捨テ置イテ唯五箇年毎ニ石代ノ高價ナ所バカリヲ以テノ御説ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、尤モ是レ又小原君モ調査委員ノ一人デアリマスガ斯ル様ナ御調ベヲ以テマシテ政府提出案ニ不同意ノ報告ニナルト云フモノハ如何ナ次第デアリマスカ、甚ダ驚入ッタコトト謂ハザルヲ得マセヌ、御自分ニ御勝手ノ宜イ二百七十二號ハ御勝手ノ宜シイ増額スル所ヲ御取リニナッテ彼ノ六章ノ二百

萬圓ニナレバ夫レヲ百分ノ一ニスルト云フ所ヲ御眺メニナッタナラバヨモヤア一云フ御説ハ出ナイコトト考ヘマス、尙又アノ政府ノ結構ナル提出案ニ御不同意ハアラヌコトト存ジマス、然ルニ今日ノ諸雜稅ト云フモノハドノ位ニナッテ居ルカト申シマス、諸君ノ御承知ノ通り歲入ノ二款三款ヲ合セテ二千八百四十三萬餘圓トナッテ居ル、殆ト十四倍幾ラト云フモノデアリマス、然ラバ今日ハ地租改正ノ當時二百七十二號ノ布告ニ依ッテ見マスレバ是レハ先刻モ申ス通り收穫ノコトヲ捨テ置イテ唯御勝手ノ宜イ石代ノミヲ以テ積算シタ所ガ十九億幾ラトナル、之ヲ百分スレバ千九百何十萬圓ト云フモノニナリマス、最早豫テ其改正當時ノ官民ノ間柄ノ約束デハ却ッテ小原君ノ述ベラレタコトトハ正反對ニナル、私ハ御説ヲ承ッテ驚入リマシタ、是レハ尤モ特別委員會ニ於テ御調査ニナッタコトト存ジマス、併ナガラ之ヲ否決セムガタメニ御勝手ノ宜シイ所バカリ御調査ニナッタト云フモノハ甚ダ本員共ハ不滿ニ堪ヘマセヌ、小原君ノ御説ヲ聽キマシテ突然浮ミマシタ所見ヲ述ベマシテ先輩諸君ノ公明ナル御判斷ヲ煩ハシタイ次第デアリマス、ソコデ又反對論者ハ其疾苦云々ト云フコトモアリマス、地租ハ今ノ地價カラ算シテ見ルト云フト九米ニナルトカ何トカ云フコトモアリマシテ何カ修正スルト餘計ノ金ヲ持下グルト云フ如キ御論ニ承リマシテ本員ハ遺憾ニ堪ヘヌデアリマス、是レハ即チ偏重デアアルカラ修正スルンデアリマス、人民相互ニ云フナラバ見込違ヒデ算出上カラ云ヘバ算違ヒデアアル、然ルニ修正論者ニ謂ハセルト先刻モ申ス通り算出論ガ反對論者ニアリマスカラ矢張り算出論ヨリ調ベタコトヲ申シマス、即チ明治二十二年ニ於キマシテ特別地價修正ニ用ヒマシタ金ハ三百二十五萬圓デゴザリマス、是レハ明治九年改正ノ當時ヨリ二十二年マデ十四箇年間積算シマスルト四千五百五十五萬圓ニ相成リマス、尙ホ夫レデ又偏重ガアルカラシテ尤モ人民ナリ衆議院ナリ毎々修正説ヲ提出シタノデアアル、人民ノ請願ニ依ッテ……元ノ内閣ニ於キマシテモ……又今ノ政府ニ於キマシテモ偏重ナルコトヲ認メラレテ今般提出セラレタノデ、今般修正ノタメニ減ズル地租ハ三百七十五萬圓デアリマス、此三百七十五萬圓モ偏重ト認メタ所ニ就テノ減額デアリマス、地租改正ノ當時明治九年ヨリ二十七年マデ十九年間ヲ積算シマスト七千二百二十五萬圓トナリマス、是レト曩ニ二十二年特別地價修正ヲサレマシタ四千五百五十萬圓ト唯今申シマシタ二ツ合セマスト即チ此金額タル一億千六百七十五萬圓トナリマス、是レハ或ル偏輕ナル所ノ二三縣ノ地方ヨリハ殊更ニ一億何千萬圓ト申シマスモノハ餘計ナル重キコトヲ國ニ貢イテ居ル譯ニ相成リマス、然ルニ第三回ノ時分ノ御論ニモ成程偏輕偏重ハ分ッテ居ル、併ナガラ國防上ナリ其他殖産工業ノ發達ガ急務デアアル、今十年十五年辛抱シテ貰フテ、先ヅ今日ハ急務ノ國防ニ使用スルガ宜シイト云フ様ナ御説ヲ私ハ耳ニ致

シマシタガ果シテ今ヨリ十五年間假リニ据置キマスト大變ナル金額ニナル、今ヨリ十五年間ニナリマス三百七十五萬圓ノ金ハ五千六百二十五萬圓トナル、之ヲ加ヘマス一億七千三百萬圓ト云フ金額ニナリマス、斯クナッタナラ如何ナモノデアリマセウ、一億七千三百萬圓モ他ノ二三縣ヨリハ餘計ニ此國ニ貢グ所ノ民ヲ脇デ見テ居ラレマセウカ、能ク御推察ヲ願ヒタイデアリマス、或ハ私共ハ百姓デアリマスカラ百姓ノ比例ヲ取リマスガ重イ物ヲ力ノナイモノニ負ハセルノ六斗牛ニ二俵負ハスト申シマス、明治九年ノ當初ヨリ此二三縣ノ外ノ人民ハ所謂六斗牛ニ二俵ノ米ヲ負フテ居ルノデアリマス、所ガ明治二十二年ニ稍「マ」一升カニ升輕メテ貰ッタノデアリマス、夫レヲ又二三縣ニ偏輕ナル所ガアルトソコデ又六斗牛ニ二俵負ハセテキユウシク必要ガアルカラト云ッテ十年モ十五年モ構ハズニキユウシク言ハセテ二三縣ノモノガ見テ居レト云フコトハ如何ナモノデゴザリマセウカ、實ニ慘酷ナリ無情ナリト云ッテ私ハ大過ナカラウト思ヒマス、又是デ唯今ノ國會開設以來修正論ト云フコトガ起ッタモノデハナイ、即チ明治七年改正ノ當時ヨリ云々ト云フコトハ同論者即チ小澤君ヨリ喋々述べラレマシタカラ矢張り夫レヲ再言スル様ナモノデアリマスカラ私ハ殊更ニ述べスデゴザリマスガ、併ナガラ其他ニ改正當時ノコトニ付キマシテ一言致シテ置キタイコトガアリマス、夫レハ如何トナレハ改正當時ノ所謂地租改正掛ノ官吏ノ處置振ナリ、當時ノ太政大臣ヨリノ達ノ次第柄ヲ一應申述ベタイト考ヘマス、多クハ彼ノ舊租ノ高イ所ハ高イ、低イ所ハ低イ云々ト云フコトハ是レハ最早昨年以來述べ盡サレタコトト考ヘマスルカラ是レハモウ述べス、唯今地租改正以來府縣人民ト政府トノ約束ト云フモノハ先刻申上ダタ五箇年云々デアリマス、唯今偏重ト認メル所ノ府縣ト申シマスルモノハ即チ其改正當時ニ當リマシテ人民ハ譬ヘバ平均段米ガ一石シカナイト、改正官吏ノ見マスル所ハ或ハ一石二斗ト見、二斗ノ差ガアル、是レ地方數年來ノ實況ナリ、尙ホ夫レ是レノ陳情中ニ圖ラザリキ明治九年ニ第六十八號ヲ以テマシテ餘程壓セラレタ様ナ布告ガ出マシタ、是レハ未ダドナタカラモ出マセヌ様デアリマスカラ本員ガ一言致シマス、

第六十八號

地租改正調査ニ臨ミ丈量濟收穫地價適當ノ見据相立一郡一區内ニ就テ人民過半承服ノ場合ニ至ルト雖モ其一部分ノミ私見ヲ張リ承服セサル者有之節ハ近傍類地等ノ比準ヲ取リ相當ノ地價ヲ定メ地券相渡收稅申付候條此旨布告候事

明治九年五月十二日

太政大臣三條實美

斯ル布告ガ出マシタ、彼レ是レヤッテ居リマスル中ニ斯ウ云フ命令的ノ布告ガ出マシタ、唯今餘程偏重ト見テ居ル所ノ府縣デハ斯ル布告ニ基イテグヅグシテ居ルナラバ即チ當時ノ六十八號ノ布告ニ依ッテ相當ノ地價ヲ定メ地券ヲ渡シテ收稅ヲ申付ケル、斯ウ云フコトニナッタ、所謂換言スレバ命令シタト云ッテ宜シイ、所デ夫レニ應ジナイトキハ彼ノ「マ」兎ニ角五箇年ノ間辛抱シロ、五箇年云々ノコトヲ以テセラレタモノデ、然ルニ其後又五箇年又五箇年、是レハ先刻論者ノ述べラレタ通りデアリマス、先ヅ斯ル次第デアリマスカラ此國會ノ開ケルノ一日千秋ノ思ヲナシ人民ハ請願ナリ又地方ノ委員ナルモノハ即チ二府二十二縣ト云フモノハ地價修正ニ同盟シテ當所ニ事務所ノアルコトハ諸君御熟知ノコトデアアル、然ラバ即チ此二府二十二縣即チ二十四ノ數デアリマス、シマスレバ二府四十二縣ヨリ比較スルモ是レガ多數ノ輿論ト言ハザルヲ得ス、然ルニ是レガ若シ否決スルガ如クナッタナラバ私一己ノ考ヘマスルニハ第一彼ノ五箇條ノ御誓文ニモ悖リハシナイカ、又明治六年ノ勅語ニ違反ハシナイカト云フ所ノ心配ガ餘程アル、如何トナレバナゼニ五箇條ノ御誓文ニ悖ルカト云ヒマスルト即チ唯今申シマスル通り四十五ニ對スル二十四ハ即チ是レハ過半數デアリマシテ、彼ノ過半數ノ地主總代ナリ又衆議院ナリ即チ人民ノ代表者トナッテ日本全國ハ三百區ニ割リマシテ其三百區ノ中ヨリ一區一人ヅ、出テ來ルコトハ申ス迄モナイ、夫レガ第一期ノ除クノ外死變ハリ生變ハリ既ニ第四回マデ提出ニナッタ居ルコトデアリマス、是レハ事實デアリマス、然ラバ之ヲ何トカ謂ハム、即チ是レハ天下ノ輿論デアリマス、シテ見レバ萬機公論ニ依ッテ決スルコト云フ御誓文ノ御趣意ニ之ヲ否決スル如キハ或ハ違反ハシマイカ、又六年ノ勅諭ノコトニ付テハ同論者モ述べラレタ通り賦ニ厚薄ノ弊ナク民ニ勞逸ノ偏ナカラシメ……此有リ難キ御聖意ニモ悖リ下之ヲ望ミ上之ニ應ジタ即チ今日ガ時機デアリマス、先ヅ第二百七十二號ノ五箇年毎ニ云々ハ幾分カ今日復活シテ來タト本員ハ考ヘル位、上之ヲ應ジ下之ヲ好ムノニ獨リ貴族院ニ於テ之ヲ否決スル如キハ實ニ殘念至極ナリ、尙ホ怨府トナルコトハ是レハ申ス迄モナイト本員ナドハ斯ク信ズル位デアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ先刻ヨリ述べマスル所ノ次第柄ヲ能ク御熟慮アラムコトヲ希望致シマスノデアリマス、尙ホ先刻下ナタデアリマシタカ質問デゴザイマシタカ財源ハ如何デアラウカ、財源ノナキモノハ縦ヒ之ヲ通過スルモ無効デアルト云フ様ナコトヲチヨット耳ニシタデアリマス、本員等ノ考ヘマス所デハ財源ハ十分アラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、縦ヒ酒烟草ノ兩稅ガ否決ズルモ既ニ衆議院ニ於キマシテモ軍艦製造費ヲ否決シタ趣ニ承ッテ居リマス、此金額千六百八十萬圓ノ七分ノ一即チ一箇年分ハ二百四十萬圓デアリマス、此二百四十萬圓ト云フモノハ唯今先ヅ無必要ノ金ト相成ッ

タ、所デ所得税ハ如何ナル決議スルカ是レハ未定デアリマスガ假ニ政府案ノ通りニシマス即チ四十萬圓、二百八十萬圓ノ金額ハ慥ナモノデアラウト思ヒマス、併ナガラ衆議院ガ決シタト云フテモコナラノ議事ニモ掛ラヌナラヌ、夫レヲ決シテ確然タルモノトハ言ハレヌ、所ガ豫テ鹿毛君ヨリ昨年建議ニナリマシタ政費節減ノ中其幾分……責メテ俸給ナリトモ百分ノ七ニ減ジテ四百五十萬圓丈ケノモノハ減ジテ軍備ナリ民力休養ナリ目下必要ノコトニ用ヒタイト云フ滿場多數ノ決議ヲ以テ既ニ建議ニナリマシタコトデアリマス、是レハ即チ俸給税ノ中デハ四百何十萬圓ト云フ是レハ減額ニナツテモ宜シイト云フコトハ滿場諸君ノ御認メニナツタコト考ヘマス、然ルニ本日衆議院ノ査定案ヲ是レハ本員一己デ調ベタノデスカラ或ハ違算ガアルカモ知レマセヌガ二百十六萬八千圓始ド二百二十萬圓程減額ニナツテ居リマス、是レハ八百何十萬圓ノ中カラ獨リ俸給ノミヲ取出シタ金高デアリマス、我ガ貴族院ガ俸給ニ於テ減額セラレタイト云フ固ヨリ望ム所ノ金額丈ケヲ取上ゲタ所ガ二百十七萬圓ト云フコトニナツテ居ル、是レハ衆議院ハモウ議決ヲ致シタ鹽梅デアアル、然ラバ之ヲ貴族院へ送付セラル、コトハ申ス迄モナイ、他ノ費目ニ付テノ減額ハイザ知ラズ既ニ俸給ノ中デ二百何十萬圓ノ金額ヲ減ジテアル、此二百何十萬圓ト云フモノガ衆議院カラ減額シテ來タナラバ大手ヲ拍ッテ我ハ贊成スベキコトト確信シテ居リマス、然ラバ軍艦云々ハ捨テ置クモ爰ノ二百何十萬圓ト云フハ確乎トシタモノガ出來ルコトハ信ジテ疑ヒマセヌ、又俸給ノコトハ決議ノ上デナクテハ如何成行カ分ラヌガ多少ハ猶豫ノアルコトト本員ハ考ヘル、シテ見レバ酒煙草ノ兩税ガ否決スルモ其財源タルモノガ確乎トアルコトハ本員ハ斷言致シテモ宜シイ位ノモノデアアル、斯ル財源モアリ固ヨリ人民ハ唯今申ス通り四十五ニ對スル二十四餘ノ各府縣ノ人民即チ地主總代ナドノ希望ノ點ハ尙ホ衆議院ニ於キマシテ年々歳々會毎ニ議論ノ出テ居ルコトハ諸君御承知ノ次第デアツテ亦之ニ應ゼラレタコトデアアルカラ、ドウカ諸君ニ於キマシテ彼ノ二百七十二號ノ一方ノ石代ノ高イ所ノミヲ取ッテ第六條ヲ御忘レニナツタリスルコトナク公明正大ノ御判斷ヲ以チマシテ此修正案ノ成立ツコトヲ偏ニ希望致シマス、

○子爵五條爲榮君 政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、政府委員有尾君ニ質問致シタウゴザイマス、今日ノ問題ノ地價修正ノコトニ付イテ參考ニ致スベキ事柄ハ有尾君ノ御承知ノコトデゴザイマスルカラ有尾君ニ質問致シマス、明治十二年本員山形縣ニ職ヲ奉ジテ居リマシタ頃土地ノ地價……地租改正ノ不公平ナルコトヲバ論ジタ、其地價ノ改正ノ仕方ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカト云フト半日改正、一夜改正ト云フ改正ノ仕方デアアル、夫レハドウスルカト云フト實地ニ就テ改正シタデハナイ、圖面ヲ持ッテ行ッテ或ハ

旅人宿ナリ或ハ其時分ニハ未ダ郡役所ハナカッタ區役所トモ言ハヌガ……大區ト云フタカシコラデ圖面ヲ以テ爰ハ斯ウ云フコトデ宜カラウ、五年ノ後ニナレバイヅレ改正スルモノダカラ……實地ヲ調べズシテ一夜ノ中ニ改正シタリ又半日位デ改正シタリ、所ガ私ガ山形縣ニ職ヲ奉ジテ居タ頃如何ニモ不都合ダト云ツテ人民ニ責メラレタ、然ルニ其際 陛下ノ御代理トシテ佐々木高行西五辻侍從ト云フモノガ山形縣ニ臨マレタ、其頃ニ深ク地價改正ノ不當ナルコトヲバ兩氏ニ就テ上奏致シ且ツハ又内務省ヘモ歎願ヲ出シ板垣藤九郎ト云フ者ナドハ三年間モ東京ニ出テ哀訴歎願ヲシタ、然ルニ其事ガ聖聽ニモ達シタ所カラ有尾政府委員ガ能ク出張シテサウシテ取調ベタ所ガ如何ニモ地價修正ノ仕方ガ不都合デアアルト云フコトヲ感ゼラレタ、夫レヨリ歸京ニナツテ内務省ヘ上奏スルト云フコトニナリマシタ、既ニ輕減ニナルト云フコトハ承知シテ居リマシタガ其時ニ不都合ナノハ一夜改正半日改正ノ不當ナコトヲ有尾君ガ感ゼラレタ建言ニナツタト云フコトハ聞イテ居リマスガ果シテ輕減ニナツタカナラナイカ後ノ參考ノタメニ一應有尾君ニ質問致シマス、

○政府委員(有尾敬重君) 唯今ノ其當時ニ於テ御申聞ケノ山形縣デハ地價

ノ調ベ方ガ不公平デアツタカラ調ベテ貰ヒタイト云フコトニ付キマシテ明治十三年ノ布告ノ明條ニ依ッテ取調ベマシテ其結果ハ若干ノ減少ニナリマシタコトデゴザイマス、

(子爵鳥尾小彌太君演壇ニ登ル)

○子爵鳥尾小彌太君 諸君、本員ハ此政府提出ノ法案ニ對シテハ反對ノ一人デアリマス、隨分國家ノ大事件デアリマスコトデ少々記憶ノタメニ演說ノ筆記ヲ致シマシテ參リマシタノデアリマス、ズット大體ヲ述ベ盡シマセスト御分リニナラヌ廉モアラウト存ジマス、少シハ時間ガ長クナリマス、此段ハ豫メ御斷リヲ致シテ置キマス、此議案ハ無論今日政治上ノ大問題デアアルニ相違ナイ、唯或ハ政府ガ咄嗟ニ出シタリ又衆議院ガ咄嗟ノ間ニ決議シタト云フ様ナ議案ノ形跡上ニ於テハ頗ル輕々ニ經過シテ居ル様ニ思ヒマスガ、併シ此事柄タル餘程國家ノ大事デアリマス、依ッテ本員モ此問題ニハ殊更ニ血誠ヲ注ギマシテ意見ヲ申シマス、併ナガラ此案ニ反對ノ意見ヲ申スノハ隨分難儀ナ位置ニ我ハ立ッテ居ルモノト言ハネバナラス、言ハバ憎マレ役ヲ致シテ居ルノデス、併シ此憎マレ役モ皆勤ムル者ガナクテ逃出シテ居テハ國家ノ大事モ甚ダ覺束ナイ、是レ等ノ道理是レ等ノ事情ガ我ハ精神ヲ驅ツテ斯ノ如キ至難ノ位置ニ立タシメタ譯合デアリマス、又此案其物ノ發表シテ居ル所ノ姿カラ申スト此議案ハ今日政府ノ政務問題トナツテ居ル様ニ本員ハ考ヘル、夫レハ政府自ラモ自ラ明言サレテ居ラル、様ニ思フ、實ニ或ル一方ノ負擔ヲ減ジテ又或ル一方ニ重稅ヲ賦課シサウシテ此國家ノ經濟ヲ成立タセウト云フコ

トハ此國家ノ經濟上ノ大變動ト言ハチバナリマセヌ、此大變動ヲ起ス所ノ政府ノ目論見ガ即チ政略デアアル、若シ此政府ノ政略ガ事實ニ能ク適スレバ或ハ國ヲ救フニ足ル、然ラザレバ國家ヲ誤マルコトニナルニ相違ナイ、就テハ此法案ハ當ニ一様ノ法律問題デハナイ至重ノ國事問題、殆ど今日ノ政府ノ政略問題ノアル所デアアル、サウシテ之ヲ提出致シタ所ノ衆議院又滿天下ノ多數ガ之ニ贊同致シテ此案ノ勢力タル甚ダ熾ンナルモノデ、是ニ於テハ殆ど貴族院一院ニ於テ取捨ノ決ハアルト見ナケレバナラス、最前モ夫レガタメニ本員ハ政府委員ニ質問ヲ致シマシタ、併シ明ナ要領ハ得マセヌ、併シ事理ニ推シテ見マスルト云フト先ヅ此取捨存廢ハ此貴族院一院ニ於テ決スルモノト本員ハ認メル、就テハ諸君ニ向ッテ政府ガ此案ヲ提出シ衆議院之ニ贊同シタル其原因ハ何ヨリ生ジテ居ルカ、ドコカラ出タモノデアアルカト云フコトハ明ニ辯明シナケリヤナラス、其原因ニ向ッテ我々反對スル以上ハ攻撃モ加ヘンニヤナラス、其原因ハ何デアアル、一言ニ私ハ申ス、是レハ天下多數ノ地主ノ感情希望ヨリ生ズルコトハ明白デアアル、其他ニ此原因ハナイ、依ッテハ段々天下多數ノ地主ノ感情希望ニ向ッテハ不當ナル所以モ辯駁ヲ加ヘマスデアリマス、併ナガラ本員ハ絕對的ニ反對ハ此案ニ向ッテハ致サヌ、成程地主ノ感情希望ニ於テハ不當ナル所モ認メテ居マスガ、是レハ隨分國民多數アリ勝ナコトデアアル、他ニ故障ガナケランチバ或ハ斯ノ如ク力ヲ極メテノ反對ハ致サナイ、其事柄ハ今日ノ國家ノ形勢上、此形勢上ヨリ論ジ及ボシテ管ニ地主ノ感情希望ノ不當ナルノミナラズ、我々國家ノ形勢決シテ斯ノ如キ議案ノ通過ヲ許サナイト云フコトヲ諸君ニ向ッテ申述ベルデアリマス、政府ガ此法律ヲ提出シタ所ノ目的ヲ最モ平易ニ正當ニ本員ガ考ヘルニ從來地方ニ於テ鬱結シテ動モスレバ國家ノ經濟上ニ必要ナル政務進行ヲ妨ゲテ殆ど蜘蛛ノ網ニ纏ンデ纏綿サレテ居ル様ナ有様デアアル、又種々ノ紛雜ヲ生ズル事情ヲ一時ニ排除シテ而シテ政府ハ政府ノ自ラ行ハムト欲スル所ノモノヲ行ハウト云フ目的ヲ以テ此案ハ出シタモノデアラウト本員ハ平易ニ考ヘル、正當ニ考ヘマシテ斯ノ如ク認定シマシタ、種々政府ノ人モ色トト質問ニ應ジテ答ヘテ居リマスガ詰マル所夫レニ相違ナイト思フ、此事情ヲ一掃シテ往カズンバ迎モ是レハ何モ出來ヌト云フ様ニ政府全體ノ人ガ思ハレタデアラウト本員ハ推測致ス、少シ臆測ニ屬シマスガ本員ハ平易ナル所ヨリ智慧ノアル限り出シテ斯様ニ政府政略ノ出タ所ヲ認定スルデアアル、所ガ此手段一應ハ成程御尤ナ様ニ見ユル、又政府タルモノノ當然ノ活手段務ムベキ活手段ノ様ニ考ヘラレル、併シツクヅク國家ノ形勢事實ノ上カラ我々觀察スルトキハ此手段ハ甚シイ失策デアアル、失計誤謬ト言ハナケレバナラス、將來ニ向ッテ我々國家ノ希望ヲ塞ギ我々國家ノ意思ヲ惑亂シテ終ニハ我々國家ヲシテ衰亡ノ域マデ陷ル、所ノモノハ實ニ此政府ノ活

手段デアラウカト本員ハ認定ヲ致ス、抑、今ノ時ハ如何ナル時デアリマスカ、國家ノ形勢ハ如何ナル有様ニナッテ居リマスカ、此時ニ當ッテ苟モ國民タル者ノ區々自己ノ利益ニノミ熱中シテ東西ニ奔リ西ニ走ッテ此至重ノ國務ヲ翻弄スルト云フコトハ以テ外ノコトデアアル、斯様ナ緩慢ナル時節デハ決シテナイ、地球ノ全體ヲ御覽ナサイ、地球ノ全面ヲ御覽ナサイ、全ク一大修羅場ニ相違ナイ、十六億ノ人類ハ各、境ヲ打越ヘテ區域ヲ乘出シテ相打混シテ生存競争スル所ノ一大修羅場デアリマセウ、申サンデモ少シ眠ッテ居ッテ考ヘルト此事ハ分ル大概ノ人ハ分ル、所ガ此生存競争ハ能ク人ノ言フ個人的ノ競争デハナイ、悉ク國家的ノ競争デアアル、言葉ヲ換ヘテ言ハバ地球上ニ國ヲ成シテ存在スル人間ガ各、其國家的ノ組織ヲ成シテ強力ノ機關ヲ具ヘテ而シテ滿分ノ勢力ヲ此世界ニ各、押張り出シテ彼等ノ國々ノ國民ヲ縱橫無盡ニ放ッテ競争ヲセシムル、甚シク申セバ強奪スルト言フテモ宜シイ程ノ有様ニ今日ハナッテアル、思フテ一タビ此ニ至レバ身ニ寒毛ヲ生ズル、我々子孫ノタメニアナタ方ハ何ト御考ヘナサル、御成算ガアリマスカ、我々一生命ハドウカ斯ウカ逃レモシマセウガ、子孫ノタメニ之ヲ思フト連モ斯ウデットシテハ居ラレナイ、成程西洋ハ文明世界ハ日々進歩スルト云フ、其文明其進歩ノ結果ト云フモノハドンナコトデアリマセウカ、詰マリ斯ノ如キノ國家的ノ準備ヲ專一トシテ世界ヘ押出シテ相争フ、國家ト國家ト業已ニ無形中ニ競争ヲシテ居ル、其國民ハ各、國家ノ勢力ニ助ケラレツ、個人個人ガ其勢力ニ乗ジテ競争シツ、アルノデアアル、而シテ若シ時機一發時ニ會スレバ戰艦銃砲他ノ國家ヲ蹂躪シ潰シ敵キ潰シテ決シテ顧ミナイノデアアリマセウカ、ドコカ夫レヲ顧ミタ國ガ近來ノ歷史上ニアリマスカ、是レハ決シテアリマス、是レガ日進トカ文明トカ云フ現在ノ有様デアアル、殆ど此有様ハ地球上人類ノ唯一ノ今日ノ所作デアアル、其外ニ所作ハナイト言フテ……斷言シテ宜シイ程ノコトデアアル、此有様ハ中々一朝一夕ノ由來デハナイ、又斯様ナコトヲ總テノ人類ガ企テタルニ至ッタト云フコトモ偶然ナコトデアアリマス、若シ夫レ即チ斯様ナ事實ガ現在ノ有様ナル以上ハ我々が見ザル聞カザルヲ氣取ッテ目モ鼻モ塞イデ居テ知ラヌ顔ヲシテ逃レルコトガ出來ナイト云フコトハ皆々覺悟センネバナラヌト思ヒマス、併シ此問題ニ對シテ鳥尾小彌太ノ言フ所ハ事實相違デアルト云フ者ハ此地球ニ栖息シテ居ル所ノ人類ヨリ一本參ラレルト云フコトハ決シテナイト本員ハ斷定ヲ致ス、若シ或ル一人ガ夫レハ事實相違デアルト申スコトヲ言ヒ得ルナラバ此世界ノ人類ノ一大幸福ト本員ハ考ヘマス、一人モ之ヲ事實ニ相違スルト云フコトハ一人モ言ハナイ、哀レナルコト誠ニ悲シムベキ有様デアアル、左スレバ此國家ノ形勢ガ正シク此形勢ノ中即チ世界ノ斯ノ如ク押迫ル所ノ形勢ノ中ニ付テノ其燒點ニ此國家ハ位置ヲ拵エテ居リマ

ス、又最前申シタ所ノ此一大修羅場裏ニ全體ヲ投入シテ居リマス、彼レト競
争角逐セザレバ決シテ逃レルコトハ出来ヌ、保ツコトモ出来ヌ、此事柄ハ本
員ガ斯ク事新ラシク申スマデモアリマセヌ、多クハ我邦一般ノ人ハ此事ハ自
ラ默識默諾シテ自ラナル覺悟ガアルニ相違ナイ、唯彼レ此レニ付テ此意思ヲ
分明ニ發揮シ能ハナイ、此覺悟ヲ分明ニ決定シ能ハナイマデデアラウト本員
ハ考ヘル、左スレバ政府タルモノモ斯ノ如キ形勢ノ中ニ邦ヲ置イテ在ル以上
ハ國民一般ニ稍、默識默諾覺悟シテアル所ノモノヲ政府ガ政略トシテ挑發シ
テ行カンネバナラス、是レガ政府ノ一ツノ務デアアル、斯ルコトハ政略デモ尤ナ
ル政略ト我々ハ思フ、所ガ之ニ反シテ斯ノ如キ議案ヲ發シテ唯彼レ此レノ事
情ニ附キ廻ッテ國家ノ勢力ヲ増長經營スルコトニ進マズシテ却ッテ國家萎靡
不振ノ手段ヲ招クノハ甚ダ是レハ政府ノタメニ惜ム、激シク言ヘバ魔ガ憑イ
タカ何カ知ラヌト思フマデニ本員ハ奇怪ニ考ヘル、諸君我ガ國家ノ形勢ハ先
ヅ本員ノ最前申シタ有様ニ陥ッテ居ルニ相違ナイ、決シテ免ル、コトハ出来ナ
イ、左スレバ今ヤ政府ノ失計失策ハ是レハ政府自ラ責ガアル、我々ノ相聞ス
ル所デハナイ、我々ハ此ニ於テ我々ノ即チ意見ヲ吐露致シテ段々ニ此國家ノ
全體ヲ鞏固ニシテ斯ル競争場裏ニ押込シテ行ク方針、覺悟ヲ取ラネバナラス、
即チ我々日本男兒ノ辛苦……是レヨリ辛苦經營スベキコトハ國家ノ勢力ヲ増
長増進スルノ外ハ決シテ他念アルベカラズ、横ヲ見テハナラス、少々ノコトハ
打棄テ置イテ宜シイカラ此急務ニ赴カンネバナラス、一口ニ申セバ此目的ノ
タメ此大計大策ノタメニハ一切ヲ舉ゲテ犧牲ニセンネバナラス、即チ一切ヲ
舉ゲテ犧牲ニスルノハ即チ夫レガ一切ヲ救フ所ノ所以デアアル、船ガ毀レテ仕
舞ッテ水中ニ陥ッテ仕舞ヘバ少々ハ懷ノ中ニ金ガアッテ捻込シテ居タ所ガ役
ニ立タヌ、左レバ種々ノ事情利害ノタメ彼レヲ救ヒ此レヲ救ヒ頭ヲ救ヒ尾ヲ
救フ、唯ソソナ事バカリニ互ニ日ヲ暮シテ居タナラバ國家全體ノ萎靡不振ヲ
愈々來シテ長イコトハアリマセヌ、モウ二三十年モ立ッたらバ大概救フベカラ
ザル所ノ形勢ニ陥ル、下手醫者ハ本當ニ病ノアル所ヲ知ラズ爰ガ痛イアソコ
ガ痛イト言ヘバ夫レニ向ッテ種々手ヲ下シ、醫者モ彼レヲ換ヘ此レヲ換ヘテ
見テ騒グ中ニハ病人ハ死ンデ仕舞フ、詰マリドウモ此本案ノ如キモ少シ是レ
ハ下手醫者ノ法案ダト本員ハ思フ、斯様ニ突ッ張ッテ申シマスト謂フ所國家
觀念ニ乏シイ人ハ國家ノタメナラバドンナコトヲシテモ宜イ、個人ノ生産ヲ
奪フテ縱令飢餓凍餒ニ陥ルモ顧ミナイ、是レハ不仁ノ甚シイ議論デアアル何ゾ
ト云フ說ガ出ルカモ知レヌ、民富ンデ國モ富ミ個人ガ富ンデ社會モ富ム、個
人ヲ排除イテ唯サウ云フ様ナ大言ヲ言ッテモ仕方ガアルモノデハナイト
云フ様ニ國家ノ觀念ニ乏シイ者ハ思フカモ知レナイ、或ハサウ云フ論ガ出ル
カモ知レナイ、成程其論モ一理アル說デ決シテ一理ナイ說トハ言ハナイ、併

シ先ヅ夫レハ場合ニ依ッテ話デアアル、時ニ依ッテ話デアアル、且ツ此個人ト云フ
コトハ一人ハ場合ニ依ッテ話デアアル、時ニ依ッテ話デアアル、且ツ此個人ト云フ
カ云フ方ノ意味ガアラウト思フ、此日本一般ノ人、一般國民ノ安全ヲ維持スル
ニ於テハ決シテ斯ノ如キ國家上ノ觀念ヲ頭腦ヨリ退ケルト云フコトハ出ケ
ヌ、斯ノ如キ危急ノ迫ッタ以上ハ故ラニサウデアアル、樂ナトキハ銘々氣儘ナ
好キナコトヲスルガ宜イ、人ハ己ヲ主トシテ己ニツイテ貪ルコトノアルノ
ハ人類ノ通情通性デアアルカラ、本員モ或ル場合ニ於テハ最前ノ說ヲ批難ハ致
サヌ、併ナガラ兎モ角、世界ノ事實ガ世界ヲ支配シテ居ルト云フコトハ諸君
御記憶ニナランニバナラス、一國ノ事實ガ一國ヲ支配シテ居ル、或ル一國ノ
事實ヲ以テ世界ノ事實ヲ動カシ差配シヤウト云フコトハ餘程ムヅカシイ、殆
ドドンナ強國デモ出来ベカラザル事柄デアアル、又之ヲ或ル國、或ル人ガ耳ヲ
塞ギ目ヲ塞イデ置イテ其事實ヲ疎クシ晦マシテ居ッテ安ンジテ居ッテモ其事
實ガ事實トシテ存在シテ晝ニ夜ニ長ジ來ル、併ナガラマダ一方デハ斯ノ如キ
世界ノ有様トナリ事實トナリ我邦ノ關係トナリシトル以上ハドンナコトヲシ
テモ構ハヌト云フコトハ本員必シモ斷言ハシナイ、日本ノ多數ガ生産ヲ失シ
テ仕舞ヒ日本ノ多數ガ禍ニ罹ル様ナコトハ無論慮ラチバナラス、何トナレバ
最前本員ノ申ス所ノ一目的モ國家ニ生存シテ居ル多數ノ人、唯現今ニ生息シ
テ居ル多數ノ人ノミナラズ次イデ生レル後來ノ子孫ニ對シテモ是レ等ノ利
益、是レ等ノ幸福ヲ維持シテ禍ニ陥ラヌコトヲ希望シテ居ル點カラ出テ居ル
ノデアリマスカラ無論是レハ諸君モ明ニ聽分ケテ下サランニバナラス、極是
レカラ此地價修正ノ本問題ニ這入ラナケレバナラス、此問題ハドウデアアルカ、
日本多數ガ此問題ノ決シ方ニ於テ幸ガアルカ不幸ガアルカ、多數ガ如何デア
ルカト云フコトニ於テハ最モ重キヲ置キマス、此特別地價修正ノミナラズ地
租輕減等ノ問題ニ付テハ本員ハ從來國家ノ一大問題トシテ頗ル考究シタモ
ノデアリマス、決シテ一朝一夕ノ斷定デハナイ、イツカ機會ガアッタナラバ
十分ニ意見ヲ吐露シテ諸君ノ考慮ヲ煩ハシタイト思ッテ居タ位デアリマス、
丁度此法律案ガ機會ヲ與ヘテ本員ノ宿論ヲ吐露セシムルニ至ッタノハ誠ニ本
員ノ喜ビ進ンデ此問題ヲ議スル所以デアリマス、決シテ好ンデ輿論ニ反シ、
漫ニ政府ニ反對スル趣意ハ毛頭アリマセヌ、是レハ前ニ於テモ申シマシタ通
リ餘程大事ナコトダト豫々思ッテ居リマス、本員ハ最前モ申シマシタ通り即
チ地主ノ希望、地主ノ感情希望ガ是レガ此案ニ賛成サレル所ノ原因デアアル、
則チ此希望感情ハ本員ハ頗ル不正當デアルト云フコトヲ前ニモ其端ヲ發シテ
申シテ置キマシタガ、此地主ノ不正當ノ希望ト申スモノハ何デアアルカ、詰マ
リ滿天下ノ地主ノ希望ハ地租ヲ輕減シテ從前ヨリ多ク所得ヲ己ニ收ムルコト
ヲ望ンデ居ルモノデアッテ其外ニ希望ト云フモノハナイ、種々ナ論モ出マス

ケレドモ悉ク此希望ヨリシテ運動サレテアル、唯サウ一旦ニ申スト或ハ此特別地價修正ハ所謂地價ノ不均ヲ均一ニスルモノデアル、天下ノ土地所有者ヲシテ成ルベク地租ヲ平等ニ負擔セシムル目的デアッテ決シテ地租ヲ輕減スル目的ノ希望カラ生ジタモノデハナイ、不公平ヲ公平ニシ不平等ヲ平等ニスル目的デアルト斯ウ云フ様ニ思ヒ、又論ズル人モアラウト思フ、成程此論ハチヨットアル、アルガ先ツ是レハ口實ト言フテ宜シ、此口實ノタメニハ政府モ或ハ誤ラレテ居ル、衆議院モ或ハ誤ラレテ居ル、天下多數ノ人モ此口實ニハ往々誤ラレテ居ル様ニ本員ハ思フ、本員ハ斷ジテ申ス是レハ唯口實ノミ、夫レハドウ云フ譯デ本員ガサウ云フ議論ヲ主張シマス、抑、地租ノ……地價ノ均一ナラザルト云フコトハ唯均一ナラザルノデハナイ、均一ナラザル所ニハ必ズ所以ガナカランネバナラヌ、又夫レニ伴フ所ノ歴史ト云フモノガナカランネバナラヌ、又斯ノ如ク不均ナル所ノ田地ヲ持ッテ居ル所ノ地主ハ夫レヲ所有スル所ノ歴史ガナカランネバナラヌ、是レト是レト不均、是レヲ此者ガ取り是レヲ此者ガ取ルト云フコトニ付テハ其不均ナル事情ガ其人ニ歸スルニハ必ズ歸スベキ所ノ理由ガナクテハナラヌ、此關係並ニ此歴史ヲズット既往ニ立戻ッテ一々講究シタナラバ此不均ヲ以テ國家ニ訴フルベキ理由ハ地主ハ決シテ持タヌコトト私ハ斷言スル、茲デ一ツノ判斷ノ言葉ヲ下セバ地價ノ均一ナラザルハ彼レ是レ人類ノ財產ノ均一ナラザルモノデアルト云フコトヲ本員ハ斷言スル、若シ各其財產タル所ノ土地、其土地ニ屬シテ居ル所ノ地價地租其物ノ不均ヲ……其物ノ關係歴史ヲ消シ棄テテ仕舞ッテ唯天下ヲ平等ニ見テ曰ク天下ノ土地ハ天下ノ通有デアル、一國政府ノ支配スル所ハ彼レニ低ク此レニ高イト云フ不均ハアルベキ筈モノデハナイ、宜シク人民ノ負擔ヲシテ偏重偏輕ノナイ様ニスルノガ國家ノ務デアル、斯ウ云フノガ丁度自分ノ田ハ誠ニ瘠地デアル人ノ田ハ沃地デアル宜シク國家ハ之ヲ均一ニセヨ、又我が田地ハ一段百圓デ之ヲ買フ彼レノ田地ハ彼レガ一段五十圓デ買ッテ、斯ウ云フ價格ニ相違ヲ生ズルト云フコトハアルマジコトデアル、國家ハ宜シク田地賣買ノ上ニ於テモ均一ノ定價ヲ與フベシト斯ウ云フ様ナ論ト一ツコトデアル、決シテ違ハナイ違フ様ニ思フテ居ルノハ夫レハ迷ト云フモノ、所ガ今日一般ノ地主ハ斯様ナ不道理ヲ大概申立テテ國家ニ訴ヘテ居ルノニ相違ナイ、若シモ斯ノ如ク土地ヲ所有シテ居ル者ガ土地其物ノ關係、歴史……其土地ヲ所有シタ所ノ歴史ヲモ棄テテ仕舞ッテ斯様ナ理窟ヲ國家ニ訴ヘルト云フコトナラバ本員ハ此理窟ハ餘程方角ノ違フ所ニ歸著スベキ所ノモノデアル、土地田畑ハ天下ノ通有彼レ是レ平均アルベキ筈ハナイ、又一國政府ノ支配シテ居ル所一國政府ニ對シテ義務ヲ負フテ居ル所ノモノデアル、決シテ彼レ是レ不均等ノコトガアルベキ道理ハナイト斯ウ主張スレバ此論理ハ日本ノ土地田畑ハ日本

ノ人民ニ均一ニ所有セシムヘシト云フ論鋒ニ是レハナリ來ル、又其土地カラ生ズル所ノ利益ハ各人民ニ均一ニ所得セシムベシ、之ヲ均一ニ所得セシムルニハ租稅ヲ不均等ニ取立テテ、良田ナレバタント取リ惡田カラハ少シ取立テテ、不均等ニ取立テテ人民ノ所得ノ均一ヲ保ツベシト論ズレバ此論鋒ニモ適フガ、左モナケレバ此不均等說ノ道理ハ立タナイ、マサカ天下ノ地主ガ斯様ナ道理ヲ主張スルノデハアルマイト思ヒマス、唯今ニ持ッテ居ル所ノ田地ト云フモノヨリシテ從來ヨリタント所得ガ取リタイト云フ所ノ人情即チ地主ノ感情デアルト本員ハ斷言致シマス、抑是レカラ少シ進マナケレバナラヌ、地方ニ住居シテアル所ノ金持モ貧乏ノ人モ盡ク農民悉ク百姓ト云フ名前ヲ皆ク附ケテ仕舞フノハ是レハ封建時代ノ遺風デアリマス、封建時代ノ士農工商ト國民ノ種類ハ四ツニ立テタル遺風デアッテ今日ノ事實實際カラ云ヘバ謂フ所ノ農民謂フ所ノ百姓ト稱スル所ノモノモ一概ニ農民トハ言ヘナイ、種々生活ノ有様ヲ異ニシテ居リマス、本員ハ此地而ニ付テ生活シテ居ル所ノ人ヲ大別シテ一ニハ地主二ニハ自作人三ニハ小作人此三ツニ分タウト思ヒマス、其第一ノ地主ハ決シテ農民デハアリマセヌ、百姓デハナイノデアル、地方ノ金持デアル、田畑サヘ所有スレバ百姓ト云フコトハ今日ノ制度デハ是レハモウ事實決シテ當ラヌ、本員ナドモ聊ノ田地ハ持ッテ居リマスガ決シテ百姓デハナイ、田地サヘ持ッテ居レバ皆百姓農民ト云フコトハ是レハ甚ダ不當ナコトデアル、此區別ハ最モ諸君ノ御記憶ヲ願ヒタイ、自ラ耕ス者又人ノ田ヲ借リテスラ力耕スル是レハ本當ノ農民百姓ト申スモノ、人ニ田地ヲ貸シテ租稅ノ上前ヲハチトル者ガナンノ百姓デアルカ、是レ等ハ丁度會社ノ株主ガ株券ヲ持ッテ居ル様ナモノデ、或ハ公債證書ヲ持ツノト同ジコトデアル、此種類ガ是レカラタント出來ルデアラウ、皆己ハ百姓己ハ百姓ト言フテ威張リタフス大キナ金持ガ斯ウ云フコトガ是レカラ先キ隨分出來マスデアラウト本員ハ思フ、先ヅ此地方ノ金持ヲドノ位アルモノト私ガ段々調べタ所ガ日本國中ニ五十萬人ホカナナイ、誠ニ少イ、此五十萬人ト云フモノハ地租十五圓以上納メル者ヲ先ヅザット押ヘタノデ、或ハ五十萬ヨリ少シ内ヘ入ッテ居ルカモ知レヌ、併シ此中ニハ無論自作者モアリマス、自ラ耕ス人モアル、併シ自ラ耕シタ餘リハ多ク是レハ小作人ニ貸渡ス、中々地租十五圓納メルモノヲ一家五人位デ作ルコトハ出來ナイ、少々作男ヲ傭ッテモ出來ナイ、多クハ是レハ小作ニ任セテ作ラセル、元來今日ノ如ク下作ヲ使フテモ尙ホ幾分か田地カラ取上ゲル所得ガアル、又人ノ田地ヲ下作ヲシテモドウカ斯ウカ生活ガ出來ルト云フ有様デアアル、左スレバ此地價ノ議論ハ地主ト下作ト斯ウ二ツニ分ケタガ本員ハ宜シカラウト思フ、何故ナレバ自ラ己ノ地ヲ自作スルモノハ下作ノ取分モ又地主ノ取分モ共ニ取ルコトガ出來ルカラ地方ノ困窮ナドト云フ問題ハ決

シテ之ニ起ルベキ鈞合ハアルマイ、又地租が高イトカ安イトカ云フ問題ノ決
シテ起ルベキ理由ハ本員ハナイト思フ、概全國ノ中ニ於テ土地ノ利益デ生活
スル者ガ大體ドノ位アラウカ、能ク調ベテハ見マセスカラハハキリシタコト
ハ申上ゲルコトハ出来マセヌガ七百萬軒位ハアルカト思フ、殆ド人口デ言ヘ
バ二千六七百萬、四人ト見タラバ七百萬軒ニスレバ四七二千八百萬、三千萬
足ラズ土地ニ依ッテ生活ヲシテ居ル、即チ夫レハ地主モ自作モ小作モ日本ノ
地面ト云フモノニ依ッテ生活ヲシテ居ルモノヲ私ハ指スノデアル、先刻モド
ナタカガ日本ハ農業國デット云フコトヲ言ハレマシタガ如何ニモ本員モサウ
思フ、然ルニ此大多數ノ中僅々五六十萬ノ人ガ此日本ノ耕作地ノ大部分ヲ占
メテ居リマス、地租十五圓以上出ス五十萬バカリ位ナ人ガ日本ヲ平均シテ見
レバ此土地ノ大部分ヲ占メテ居ル、而シテ眞實力作スル者……力耕スル者
カラ彼レ等ハ過重ナ稅ヲ取立テルニ相違ナイ、調ベテ見マスと地租五圓以上
ヲ納メル者ガ百五十萬バカリアリマス、十圓以上納メル者ガ八十萬バカリア
ル、尤モ以上以上ト申スモノハ百五十萬ノ中デ地租十五圓以上ノモノヲ引ク
ト殘ガ百萬、又其中二十圓以上ノ八十萬ヲ引クト殘ガ七十萬、モウ一ツ繰返シ
シテ申スト地租五圓ヲ納メル者十圓ヲ納メル者迄ノ間ノ者ガ七十萬アル、總
計百五十萬、併シ百五十萬ト云フモノハ大概戸主デアル、ダカラ百五十萬軒
ト云フテ宜シイ、併シ其中カラ最前申シタ大數デアリマスケレドモ七百萬軒
此土地ニ附イテ生存シテ居ル者ガアル生活シテ居ル者ガアルト見ルト五百五
十萬ト云フモノハ誠ニ五圓以下ノ小農デアッテ大概二千三百萬ヤソコラハ丸
切リ土地モ何モナイ者ニ相違ナイ、地方ノ困難地方ノ困難ト申スノハ此即チ
段々最前申シタ算盤ノ統計カラ取除イテ差引殘ッテ居ル所ノモノガザット五百
萬軒トスルチウト之ニ四ツ乗ケテ……戸別四人ト見テモ四五二千萬人程ノ者
ガアル、所謂地方困難ノ實狀デアッテ其實狀ニ陷ッテアルモノニ相違ナイ、
マダマダ四圓ヤ四圓五十錢、三圓ヤ三圓五十錢、二圓ヤ二圓五十錢ノ地租ヲ
出ス者ハ其中ニ在ルニ相違ナイガ、併シ比例的ニ之ヲ減ジテ往キマシタラバ
是レモ餘程數ハ少イ、五圓カラ十圓ノ間ガ七十萬人シカナイ以上ハ一圓カラ
五圓ノ間モ恐ラク百萬カ逆モ百五十萬トハナイ程ノコトデアラウト思ハレ
ル、左スレバドウシテモ三百萬軒ハ之ニ四ツ乗ケテモ三四ノ千二百萬人ト云
フモノハ是レハ殆ドナンニモナイ無資產ノモノデアアル、即チ人ノ田畑ヲ耕シ
テ以テ生活ヲシテ居ル所ノ憐レナル即チ小民デアアル、所ガ此地租改正トカ輕
減トカ種々ナコトノ出テ來ルノハ即チ地方農民ノ困窮ヲ口實トシテ出テ來マ
スガ、地面モナイ貧乏ナモノニ對シテハ地租ヲ悉ク除イテモ決シテ利益ス
ル、……此者ヲシテ利益セシムル筈ハナイ、別ニ方法ガナクテハ決シテ此多
數ノ貧民ヲ蘇息スルト云フコトハ決シテ出來ヌ、彼レ等モ併シ均シク國民ニ

ハ相違アリマセヌ、地面ノナイタメニ困窮ヲ訴ヘルコトハ出來セマス、一方
デハ幸ニ幾分カノ地面ヲ持ッテ居テ小作米ヲモ取立テ居テ困窮ヲ申シ立ルノ
ハ誠ニ驚入ッタル所ノ是レハ希望ト云ハネバナラス、又ソラ程マデニ土地ヲ
持ッコトガ天下ノ地主……總テノ土地ヲ所有スルガイヤナラバ土地ノナイモ
ノニ吳レテヤッタラ一番善カラウト思フ、迷惑スルニハ決シテ及バナイ、
左スレバ天下ノ多數ノ小民ハ有リ難ガッテ決シテ租稅ガ高イノ安イノナンド
ト云フ様ナ苦情ヲ云フモノハ一人モナイ、喜ンデ戴キマス、地所ガアレバコ
ソ苦情ガ出デ來ル、無イ者ノ苦情ハドウシテ出マセウカ、ソコデ野垂レ死ラ
セヨト云ヒマセウカ、彼レ等モ皆悉ク國民デハナイカ、斯ク言ヘバ地主ノ一
部カラ隨分議論モアリマセウ、中々地主モツライイト云フ道理ハ何ボウカア
リマセウ、併シマー夫レガアッテモ宜イ、餘地ノ有ルツライノダカラ無イ者
ノツライヨリハ我慢ガ出來ル、元來今日ノ人ハ地所ハ一般ノ身柄ノ所有物ノ
様ニシテ唯其所有物ニ稅ト云フモノヲ掛ケテ取ラレル様ニ思ッテ居ルガ土地
ハサウ云フモノデハナイ、土地ハ殆ド人ノ手ニ渡ラナイ前ニ於テ租稅ト云フ
モノヲ負擔シテ居ルベキ性質デアアル、詰マリ土地ヲ持ッテ迷惑ノ人ハ何時デ
モ國家ニ御返シナサッタラバ國家ハ請取ルデアラウ、左スレバ國家ハ又自ラ耕
シテ根氣ニ働ク者ニ之ヲ付與シテ、國民ノ多數ノ生産ヲ保タスカラサウ迷惑
ガルニハ及バナイ、抑此又論ヲ尙ホ一步ヲ進メテ申シマスガ、此事ニ就テハ
天下多數ノ地主ノ人ハ己ノ利益ナリ感情ナリ上カラ掛ッテ來テ居ル所ノ一
ツノ雲霧ヲドウシテモ破ッテ貫ハンニヤナラス、本員ハ最モ夫レガ希望デア
アル、其何等カラ先ツ頭ヲ一ツ開拓シテ貫ハンニヤナラス、凡ソ天地間ニ住
テ居ルモノハ土地ニ依ラナカッタナラバ如何ナル動物ト雖モ生ヲ保ツコトハ
出來マスマイ、虛空ニ生活スルコトノ出來ナイト同ジ譯デ……

〔子爵會我祐準君「動物ト承ッタ、生ヲ稟ケタモノト承ッタ」ト呼
フ〕

言葉ガ足ラナカッタノダ……又此總テノ生産力ハ皆土地ニ因ッテ發達スル、
縱令勞力者ガアッテモ土地ガナカッタナラバ一物モ生ズルコトハ出來ナイ、
謂ハバ虛空ニ向ッテ耕スコトガ出來ヌト同ジコトデアアル、コ、等ハ幸ニ地主
ノ人ニ能ク聞イテ貫ハンニヤナラス、是レハ大多數ノ人民ハ死スルモノト生
レルモノト幾ラモアリマスガ、詰マリ生レ來ル所ノモノガ多イ、段々倍增シ
テ生レ來ッテ居ル、之ヲ國家ガ保育養成スルニハ土地ガナカッタラバ如何ナ
ル國家モ困ルニ相違ナイ、ダカラ昔、王制ノ朝ニハ口分田ト云フモノガア

ル、支那デハ井田ノ法ト云フモノガアル、是レハ土地ヲシテ所謂一己人ニ大層占有ヲサレテ他ノモノハ誠ニ力ヲ盡ス所ガナク、有スルコトモナイ様ニナルト云フコトハ、昔カラ餘程是レハ憂ヘタモノデアアル、此通リ此歴史カラ云ヘバ今日ノ地主ト云フモノハ是レハ多クハ昔カラ兼併ノ弊ト云フモノガ起ツタノデアアル、昔ハ之ヲ兼併ノ弊ト云ヒマシタガ今日ハ大地主ト云フテ多イ程貴バレルケレドモ昔ノ物ヲ識ツタモノハ餘程憂ヘタ、併ナガラ本員ガ斯ク論ズルノハ天下ノ地主ヲ決シテ憎ンデ申スノデハナイ、又口分田トカ井田ノ制ヲ決シテ施サウト云フデモナイ、併ナガラ段々ニ農民ガ土地ヲ離レテ、土地ヲ有シテ居ルモノガ農民デハナイト云フ事實ガ國家ニ甚シクナルト云フコトハ甚ダ本員等ノ憂フル所、又斯様ナ有様ハ決シテ希望シナイコトデアアル、之ニ就テハ少シモット善イ制度デモ立ッタナラバ、普ク一般ノ農民ガ仕合セヲスルダラウト考ヘタコトモアリマスガ、コイツモ中々容易ニ行ハレサウモナイ、是レ等ノ大體ヲ皆サンガ能ク御考ヘナサツタナラバ即チ此案ノ如キ、或ハ地租輕減等ノ如キ、最モ憐ムベキ小民ニハ其恩ガ及バスシテ殆ト餘レルニ續ク様ナ是レハ有様ニナルコトハ必然デアアル、且ツ餘レルニ續ゲバ段々はレハ兼併ノ弊ガ起ルニ相違ナイ、之ヲ早ク申スト最前申シタル所ノ先ツ自作百萬人、其平均ノ地價ヲ……自作百萬人ハアリマセス、十圓ヲ納メルモノハ僅ニアリマスガアマア夫レヲ負ケテ、タントニ見テ百萬人モアルトスルト此地價ヲ四百圓、地租ヲ十圓納メルモノトシテ、マア過日衆議院ニ提出サレマシテコッチヘ參リマシタ三厘減……三厘ヲ減ジタナラバドウナルカト云フト地租十圓ヲ納メルモノニ對シテ一圓二十錢ノ減額トナル、地租十圓ヲ納メルモノハ四百圓ノ地價ヲ保ツモノデ隨分是レハ善イ土地ハ品格ノ家デアリマスガ、夫レニ一年ノ猶豫ガ一圓二十錢出來テモ決シテ其一家ガ豐饒ニナルト云フコトハ本員等ハアルマイト思フ、併シ段々はレハタント持ッテ居ルモノハ一圓二十錢ハ十二圓ニナリ十二圓ハ百二十圓トナルト云フ様ニ上ノ方ニ往クト是レハタントノ利益ニナル、ドウモ是レハ餘程憂ヘル、地方ノ小農ト云フモノハ大概年々物事一杯ニ出來テ居ル、豊年ダカラト云フテモサウ餘リモシナイコトデアアル、ソコヘ以テ往ッテ水災ダトカ旱損ダトカ或ハ種々ノ不幸或ハ家族ノ内ニ病人ガ出來ルトカ、色々ナ意外ナコトガ出來ルト大變困窮ニ陥ル、困窮ニ陥ルト金持ノ處ヘ持ッテ往ッテ田地ヲ質ニ入レト遂ニ取上ゲラレテ仕舞フ、天下ガ無事太平ニ風モ吹カズ雨モ降ラズ、人間ニ病氣スルモノガナイ有様デアルト云フト此小農ト云フモノモドウカ斯ウカ立チ往ク途モアルガ、決シテ今日ノ人間ノ缺點カラ云ヒマシタナラバ此小農ハ年々ドウモ潰レル姿デアアル、段々金持ニ土地ヲ取ラレテ仕舞フ、連モソコヘ以テ來テ地租十圓ヲ納メルモノヘ以テ來テ一年ニ一圓二十錢ヲ減ジテ往ッタナラバ夫レ

ヨリ下ノモノハドウシテ維持スルカ、別ノ方法ヲ立テヌト此小農ヲ國家ガ育ンデ程能ク生存ヲ遂ゲシムル別段ノ方法ガアラズンバ容易ニ出來ナイ、唯一種ノ地方ノ豪農ノ兼併力ヲ蓄ヘサスル皆事柄トナル、此法律案ナドハ皆其通リノ事柄デアアル、昔カラ徳川政府ノ時代各諸侯デモ井田モ口分田モ行ッテ居リマセヌケレドモ此兼併ハ隨分心配シテ抑ヘタモノデ、夫レデ今日ノ形ヲシテ居ルノニ今日ハ互ニ強イ者ト弱イモノト貧乏人ト金持ト殆ト競争サセル有様ニナッテ居リマスカラ段々ニ是レハ一層ニ倍ヲ掛ケテ此兼併ノ弊ハ甚シクナルニ相違ナイ、本員モ會テ調ベタコトガアリマス、明治二十三年……明治二十二年デシタカ是レニハ日本全國中地租五圓以上ヲ納ムル者百六十萬人、夫レカラ三四年立ッテ調ベテ見タ所ガ五十何萬モ、日本國中デハ十萬軒カラ潰レテ居ル、皆是レハ兼併サレタコトハ明ナルコトデアアル、アナタ方モ統計ヲ取ッテ御覽ナサイ、彼レヨリ低イ年々五圓ヨリ低イ四圓三圓ト云フ統計ガ出來タラ實ニ是レハ著シキコトデアラウト思フ、且ツ此土地ノ上カラ云ヘバ中々開ケ盡シテ日本モタントハ殖エナイ、殖ヤシテ見テモ中々瘠田ナドデ十分ノコトハナイ、其限アル所ノ土地デス、其土地ヲ占有シテ居ルノガ今日ノ地主ト謂ハナケレバナラス、段々小作人ト云フ様ナ類ガ殖エテ來ル、明治元年カラ二十五年マデニ六百萬人バカリ殖エテ居ル、是レハ土地ヲ持ッテ來タカト云フニサウデハナイ、皆赤裸裸デ生レテ來テ、而シテ土地ハ段々兼併セラレテ仕舞フ、生レル者ハ赤裸裸デタント生レテ來ル、スルト殆ト六百萬人ハ九州全體ヲ以テ住居シテ居ル人ヨリハ多イ、九州ハ五百六十萬人シカナイ、左スレバ此六百萬人ノタメニ九州丈ケノ土地ガ二十五年間ニ出來ヌケレバナラスガドコニモ出來テ居ラス、皆元ノ土地ニ住ミ相達ミ相達ミ合テ下作ヲシテ居ル者デアアル、愈々茲ニ至ッテ地主ノ權力ト云フモノハ非常ナモノデ、下作ガ多クナレバ多クナル程競争シテ作ル様ニナル、ヒドクナレバ土地ヲ持ッテ居ル者ハ手ヲ濡サズシテ仕合セヲシテ居ル、是レヨリモ十年二十年三十年モ後ニナレバ下作ヲスル者ハ倍ニモナルト申サナケレバナラスデス、土地ハ決シテ殖エナイ、段々兼併シテ少數ノ者ガ占メテ仕舞フ様ナ傾ニナル、是レハ土地ヲ持ッテ居ル人ハ須ク考ヘナケレバナラス、幸福ノ位置ニ立ッテ居ルガ能ク考ヘナイト間違フ……

〔男爵伊達宗敦君「未ダ長クアリマスカ」ト述フ〕
マダ餘程アル、大概ノ所ハ抜イテ、御話ヲシマセヌガ夫レハ始カラ斷ッテアル、是レハ長イ問題デアアルカラ仕舞マデ聽イテ下サラスト中途デハ困ル、私モ疲レタカラ諸君モ御迷惑デアラウト思ッテ居ル、成ルタケ詰メテ申ス……
〔男爵金子有卿君「長イモ宜シイガ問題外デハゴザイマセスカ」ト述フ〕

決シテ問題外デハナイ……

〔男爵金子有卿君「地價修正ノ問題ニ地租輕減ノ意ヲ述ベラレタ故問題外ト思ヒマス」ト述フ〕

問題外デハアリマセス、能ク聴イテ御出ナサイ、此議案ハデス、政府カラ出テ衆議院ヲ經過シマシタガ此議案ノ起ツテ來ル謂ハレト云フモノガアル、其謂ハレニ向ツテ斯ノ如ク攻撃致シテ居ルノデアル、斯ノ如キ地主ハ好位置ニ立ツテ居ル、又一方ニテ云ヘバ段々ヒドク人ガ殖ニテ來、其殖エテ來ル人ハ斯ノ如キ貧民バカリ殖エテ來ルト云フコトニ見ナケレバナラス、此殖エテ來ル所ノ即チ人、二十五年間ニ六百萬、此順デ參リマスルト云フト直キニ千萬ヤ千五百萬ハ段々殖エル人バカリデ三二十年ノ後ニハ大變ナモノニナツテ來ルニ相違ナイ、此殖エタ即チ赤裸デ生レテ來ル者ヲデス、誰レガ世話ヲスル、此世話ハ國家ガシナケレバナラス、ドウカシテ生産ニ有附ケル工夫ヲシナケレバナラス、廳テ日本デ今四千萬ト云ヘバ直キニ五千萬ニ達スル位ナ位置デアリマス、國家ガ斯ノ如キコトハ任務トシナケレバナラスガ其經濟ヲ負擔スル者ハドンナ者ガ負擔スルカト云フニ有ル者ガ出スヨリ外仕方ガナイ、日本ニ於テ有ル者ト云ヘバ土地ヲ持ツタ者ガ有ル者ノ中デアリマス、斯ノ如ク地主ガ多ク之ヲ負擔シナケレバナラス、今日現在酒ノ稅ヲ政府ガタント取ツテ居ルガ私ハ調ベテ見ルニ一千六百萬圓バカリ取ツテ居ル、是レハ酒香ノ免許料デアリマスシ其外ニ酒ノ稅ヲ別ニ拂ツテ居ル、酒香料ガ一千六百萬圓バカリ金ガ出ルガ天下ノ土地ヲ持ツテ居ル者ガ三千八百萬ヤ四千萬ノ金ノ出セスト云フコトハ理ニ於テナイコトデアル、是レハ頗ル不思議ナモノデ、地方ノ困難モアリマセウガ地方ノ困難ハ別問題デアリマス、是レハ無イ者ノ困難デ、有ル者ノ困難デハナイ、斯様ナコトヲ申スト土地ヲ持ツテ居ラシヤル御方ハ御迷惑カハ知ラヌガドウカ此事ハ私ノ名論デモ卓説デモナイ、普通ノ智慧ノアル人ハ直ニ分ルコトデアリマス、ケレドモガ是レハ地主ヤナンゾ土地ヲ持ツテ居ル人ガカラサッパリ分ラヌ、分ラヌカラ一ツ其頭腦ヲ開拓シテ貰ハハネバナラスト私ハ云フノデ、又政府ニハ經濟學者モアリ衆議院ニモ才學兼備ノ人ガ三百人モアルカラ是レ等ノ人ハ氣ノ附カヌコトハナイ、能ク氣ガ附イテ居ルノデ、唯地主ニコワイ、何故コワイト云フニ今日ノ選舉權ト云フモノハ地方デアラウガ府縣會デアラウガ帝國議會デアラウガ多クハ是レハ土地ノ特權ニナツテ居ル、土地ノ特權ニ大抵ナツテ居ル、地方ノ縣會ヤ郡會トカ云フ様ナモノハ無論ノコト、此帝國議會ノ衆議院ニ於ケルモ大抵選舉被選舉ノ權ハ土地ノ權カラ生ズル、殆ド人間ノ權利チヤナイ土地ノ權デアル、土地ヲ持ツテ居ル者ノ權利ニ屬シテ居ル、斯様ニ地主ト云フモノハ大權力ガアリ、最前申シタ通り土地ト云フモノハ頗ル幸福ナル傾デアルニ其上ニ尙ホ大權力ガ政

治上經濟上ノ上ニ於テ頗ル動カサレテ至當ノ權利ニ至當ノ意見ヲ持ツテ居ル者モ夫レガタメニ意思ヲ發揮スルコトガ出來マセヌ様ナ勢ニ今日ハ傾イテ居ル……大概モウ……未ダ少シ申サヌケレバナラスガ……

〔山口尙芳君「ヤルベシヤルベシ時ヲ惜マス」ト述フ〕

〔男爵伊達宗敦君「成ル丈ケユックリヤ」ト述フ〕

唯ドコマデモ諸君ニ注意ヲ願ヒタイノハ本員ノ斯ノ如ク噫々論ズル所以ノモノハ天下ノ地主ガ斯ノ如ク勢力アル所ノ者ニ向ツテドウカ一ツ自分上ノ利害ヲ棄テテ而シテ此國務ヲ脊負ツテ貫ヒタイト云フノガ熱心ノ希望デアアル、決シテ攻撃スルノデハナイ、ナゼナレバ殆ド從前ハ貴族政治、士族政治ト云フ様ナ有様デアアル、ソコデ王政一新ニナツテ殆ド貴族士族ノ勢力ト云フモノハ社會ニ及バスコトニナツタ、今日ハ皆地主政治ト云ツテ宜シイ、日本一般ノ士族丈ケデモ戸數デ四十萬有餘アリマス、今日ノ帝國議會ノ衆議院ノ選舉被選舉權ヲ持ツテ居ル者ハ五十萬程アル、昔ノ士族ト大抵其數ヲ等ウシテ居ルモノデアリマス、隨分此權力ト云フモノハ熾ナモノデアアル、此權力ノ使用上ニ付テ矢張り少數政治ニ陥ツテ仕舞フ、元來今日御維新ニナリマシテ封建ノ政府ガ御廢止ニナツテ今日立憲ノ政體ニ赴イタ、是レニハ一ツノ國家ノ意思希望ト云フモノガアツタニ相違ナイ、人々ノ意思希望デハナイ、人々ノ以外ノ國家ノ意思希望ガアツタラウト思フ、此國家ノ意思希望ハ殆ド即チ滿天下ノ地主ノ意思希望ニ取ツ換ヘラレテ仕舞フト云フ今日ノ有様ニ陥ツテ居ルカラ本員等ハドコマデモ主張スル、此國家ノ意思希望ハアタ方大概茲ニ列シテ居ル御方ハ明ニ認メテ居ルニ違ヒナイ、徳川覇府ノ時代ヨリ是レハ起リ來タル所ノ國家ノ意思希望デアアル、徳川覇府ノ大政ヲ朝廷ニ返上シタノハ何ノタメデアアルカ、此國家ノ希望意思ヲシテ満足セシムルコトガ出來ヌ、充タスコトガ出來ナイ、其希望意思丈クノ責任ヲ執リ能ハナイト云フ所カラシテ徳川覇府ハ大政ヲ返上シタニ相違ナイ、サウデアリマセウ、皆諸君御存知デアリマセウ、唯國家ノ希望意思ガナイノニソコトガ出來ル管ガナイ、又三百ノ諸侯ハ今コソ誠ニ尾緒ノナイ様ナ所ガアルカ知レマセヌガ、何ニシロ三百ノ諸侯堂々タルモノデアアル、是レガ何ニ依ツテ皆封土ヲ返上シタノデアアル、封土ヲ納メタノハ何ニ依ツテ納メタ、保ツベカラザルモノト云フコトナラバ其前ニ於テモ保ツベカラザルモノ、皆是レハ國家ノ意思希望ニ伴ハレ又國家ノ意思希望ニ伴ハレツ、斯ノ如キコトガ行ハレタニ相違アリマスマイ、又全國四十餘萬ノ戸數デ二百萬以上ノ士族ガ甘ンジテ主從ノ分義ヲ抛ッテ顧ミナカッタノハ何ノタメデアリマス、アナタ方ハ誠ニ能ク經過シテ實際ニ眺メテ居リマスカラ能ク御分リニナリマセウト思ヒマス、此一種儼然タル國家ノ意思希望ト云フモノガ御維新前カラ確定シテ居ル、此意思希望ニ伴ハ

レテ今日マデ進ンデ參ッタニ相違ナイ、左スレバ此國家ノ意思希望ハ今日申
スマデモナイ、業已ニ決定シテ居ル、此國家ノ根軸ト共ニ定ッテ居ル、ダカ
ラスノ如キ大變遷ヲ經過シテ秩序ガ案レナイ、又名爵權威利益特權ヲ抛ッテ
人ガ怨マナイ、能ク御考ヘナサツタナラハ是レハ事新シク言ハンデモ能ク分ッ
タコトデ、而シテ此國家ノ希望意思ガ今日殆ド七八分ニ達シテ大イニ發セヤ
ウ動カウト云フ所ノ場合ニ至ッテ一頓ニ挫折、ドウ挫折スルカト云ヘバ天下
ノ地主ガ錢ヲ出サナイ、租稅ヲ出スコトガ嫌ヤダ、成ル丈減ジテ呉レ、イ
ヤ軍艦モ造ラナイ、イヤ政費節減トカ何トカカントカ言ッテ唯己ノ田ニ持ッ
テ行ッテ水ヲ引ク考バカリヲスルコトニ陷ッテ居ル、往キ詰ッテ仕舞フ、此
希望意思ト云フモノ……國家ノ希望意思ト云フモノハ言ハンデモ諸君ハ分ッ
テ居ル、外國ノ侮辱ヲ慨キ國權ノ不振ヲ悲ミ皇國ノ安危存亡ヲ人々自ラ任ジ
自ラ憂フテ起リ來ッタル一大國家ノ希望意思デアルガ、此外國ノ侮辱、國權
ノ不振、皇國ノ安危、斯ノ如キ所ノモノハドウナッテ居リマセウカ、斯ノ如
キノ國家ノ希望意思ハ一頓ニ挫折シテ仕舞ッテ、而シテ夫レニ依ッテ起ッ
ル所其災ハ日々ニ迫ッテ居ルデハアリマセウカ、御維新前ヨリ今日チヨット
モ退イテ居ラスデハアリマセウカ、其儘アルバカリデナイ段々迫ッテ來ル、
若シ今日ニ方ッテ此目的ヲ秩序的ニ達スルコトガ出來ナイ以上ハ謂フ所士族
以上ノ道義、義理ハ決シテ之ヲ義トモ言ハレンニヤ、理トモ言ハレヌ、恰モ時
勢ト云フハ天變ニ遇フテカラ利益榮譽ヲ悉ク失ッテ仕舞ッタモノト等シイモ
ノデアアル、斯ノ如ク國家ノ犧牲ニ供シ來ッタル所ノ義心ハチヨットモ貫カヌ、
其結果ヲ見ナイ、誠ニ此國家ノ希望意思ト云フモノハ能ク諸君ト共ニ講究ヲ
モシ能ク明ニ任ジテ以テ此御維新前後ニ起ッタル所ノ意思ヲ貫イテ、即チ御維
新前後ニ起ッタル所ノ國家ノ憂ヲ排除シ國家ノ求メンネバナラス所ノ利益ヲ
身ニ求メテ後世子孫ニ對シテ幾分カ我々ガ責ニ立ッ所ノ位置マデニ是非トモ
此事ハ進メテ行カンチバナラス、之ヲ進メルニハ今ノ地主ト云フモノニ持ッ
テ行ッテドント一ツ突當ル、士以上ハ斯ノ如キ國家ノ意思希望ト伴ッテ行カ
チバナラスノガ玆ニ至ッテ地主ト突當ッタ、此意思希望ハ此下ノ方ニハマダ
アル、此下ニ十分含蓄シテ居ル、唯地主ト云フモノガ一枚間ニピシヤトナッテ
ドウデモ是レハ通サナイガ、ドウデモ是レハ通シテ貫ハシネバナラス、是レ
ハドウシテモ國家ノ希望ニ伴フテ貫ハシネバナラス、此人等ガ即チ最前申シタ
國家ノ希望意思ニ快ク伴ヘバ即チ御維新以來上下苦シダ所ノ即チ國家ノ希望
モ幾分カ達スルニ相違ナイ、何トナレバ是レ等ノ人ハ日本今日ノ上ニ於テ有
力ナル人達デアル、是レハ本員ノ熱心ニ主張スル所ノモノデアル、就テ此即
チ地租特別改正地租輕減等ノ案ハ皆悉ク地主ヤ何カノタメニ毒ヲ飲マサレ他
日國家ノ本務……任務ヲ此人等ガ盡シ能ハザルノミナラズ遂ニハ今謂フ所ノ

多數ノ人民貧民ノタメニ國家ト共ニ他日此苦惱……苦シミヲ受ケルコトハ本
員ハ斷言シテ置キマス、何トナレバ此人ト云フモノハ裸デアル教モナク裸デ
無生産デ置イタナラバ決シテ秩序スルコトガ出來ヌ、出來ヌノミナラズ治メ
ルコトガ出來ヌモノデアル、昔モ能クアリマセウ百姓一揆デモ起ッたらバ少シ
金持ノ所ニ行ッテ敵キ壞ハシテ仕舞フ、夫レト同ジデ能ク此所ヲ考ニナッ
此事ヲ任ジ、サウシテ多數ノ人民ヲ北海道ニ移シテ宜ケレバ北海道ニ移ス、
又夫レニ生産事業ヲ與ヘルナラバ與ヘル、サウシテ小民ハ小民ノ夫々生産ニ
アリ付ク途ヲ開キ、一方ニハ國權ヲ維持シテ以テ此外國交通ノ中ニ立ッテ我
ガ人民ガ國權維持ノタメニ進ンデ力ヲ致シ、又世界ニ押出シテ即チ世界ニ競
爭シ能ハザルノミナラズ常ニ每ニ敗北ノ地ニ陷ッテ來ルコトハドコマデモ防
ガンネバナラス、是レハ今日ノ機ニアリマス、之ヲ四五年此儘デ抛ッテ置キ
マシタナラバ仕方ガナイ、先ヅ本員ハ此案ニ反對スル所以竝ニ天下ノ土地所
有者ニ向ッテ泣血シテ忠告致ス、先ヅ此邊デ置キマス、
○議長（侯爵蜂須賀茂韶君） 段々通告者モマダゴザイマスガ最早時刻モ餘
程遅クナリマシタニ依ッテ今日ハ延會致シマシテ明日ニ讓リマセウト存ジマ
ス、今朝本席ニ御委託ニナリマシタ砂鏝採取法案特別委員ヲ選定致シマシタ
ニ依ッテ御報告ニ及ビマス、公爵近衛篤磨君、子爵山内豐誠君、箕作麟祥君、
男爵青山貞君、田中芳男君、武井守正君、野崎武吉郎君、澤原爲綱君、田部
長右衛門君、明日ノ議事日程ハ、午前十時開議、第一、侯爵四條隆調君請暇
ノ件、第二、島内武重君請暇ノ件、第三、田畑地價特別修正法律案、政府提
出衆議院送付、第一讀會、前會ノ續、本日ハ散會、

午後四時三十分散會